

平成21年度 隣接校選択制全市実施 アンケート集約結果

平成21年9月～11月実施

対象

- 生徒（中学校1年生）
- 小学校保護者（小学校1年生）
- 中学校保護者（中学校1年生）
- 教職員（小学校・中学校）
- 地域住民
- 自治委員（校区会長）

大分市教育委員会 教育企画課

目 次

1	隣接校選択制アンケートの結果について・・・・・・・・・・	1
2	共通質問：隣接校選択制の全市実施について・・・・・・・・	2
3	生徒（中学校1年生）集約結果・・・・・・・・・・	4
4	小学校1年生保護者集約結果・・・・・・・・・・	9
5	中学校1年生保護者集約結果・・・・・・・・・・	20
6	小中学校教職員集約結果・・・・・・・・・・	27
7	地域住民集約結果・・・・・・・・・・	36
8	自治委員（校区会長）集約結果・・・・・・・・・・	44

隣接校選択制アンケートの結果について

大分市教育委員会では、平成21年度入学生より児童生徒、保護者が通学の安全性や通学距離、学校の特徴等を考慮し、自ら就学する学校を選択できる機会を拡大しました。

そこで、平成21年9月～11月、隣接校選択制のアンケートを全市で実施しました。

1 基本的な考え方

生徒は、各中学校の1年生1学級を抽出し対象とした（選択者*1を含む）。

保護者は、各小中学校の1年生1学級を抽出し対象とした（選択者を含む）。

教職員は、各小中学校の管理職と第1学年所属の教職員を対象とした。

地域住民は、各小中学校の地域住民、保護者を対象とした。

自治委員は、全校区会長を対象とした。

- ・ 地域住民は、9月～11月に実施される学校公開日等の際に、アンケートが記入できるよう対応した。
- ・ 自治委員は、自宅にアンケート用紙を郵送し対応した。

選択者*1：本制度を利用して隣接校に入学した者

2 アンケート対象者と回収率（平成21年5月1日調査基準）

対象	対象者数	回収数	回収率
生徒（中学校1年生）	782	755	96.5%
小学校1年生保護者	1470	1354	92.1%
中学校1年生保護者	786	692	88.0%
小中学校教職員	598	598	100.0%
地域住民	-	638	-
自治委員（校区会長）	52	37	71.2%

3 総括

隣接校選択制の周知は一定程度図られているといえる。

生徒、保護者は隣接校選択制に肯定的な意見が多数を占め、選択する場合の基準は、通学区域内の学校を優先する傾向にある。

地域住民においても、隣接校選択制に肯定的な意見が半数を超えている。

教職員については、肯定的な意見が約4割程度である。

自治委員については、肯定的な意見は約25%程度である。

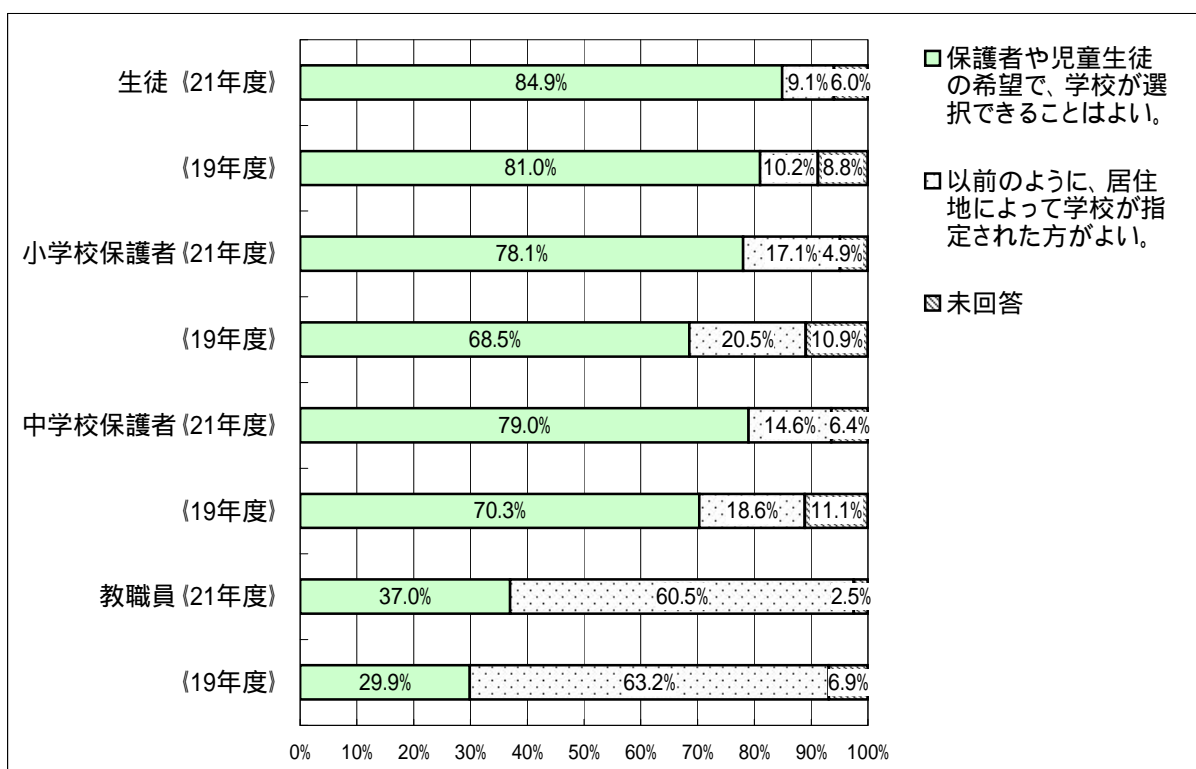
平成19年度の試行時の結果と比較して、いずれの対象者においても肯定的な意見が増加している（平成19年度調査対象としなかった自治委員を除く）。

< 共通質問 >

今回、隣接校選択制が全市実施されたことについて、どう思いますか。

平成21年度アンケート	件数				比率			
	生徒	小学1年保護者	中学1年保護者	小中学校教職員	生徒	小学1年保護者	中学1年保護者	小中学校教職員
保護者や児童生徒の希望で学校が選択できることはよい	641	1057	547	221	84.9%	78.1%	79.0%	37.0%
以前のように居住地によって学校が指定された方がよい	69	231	101	362	9.1%	17.1%	14.6%	60.5%
未回答	45	66	44	15	6.0%	4.9%	6.4%	2.5%
合計	755	1354	692	598	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

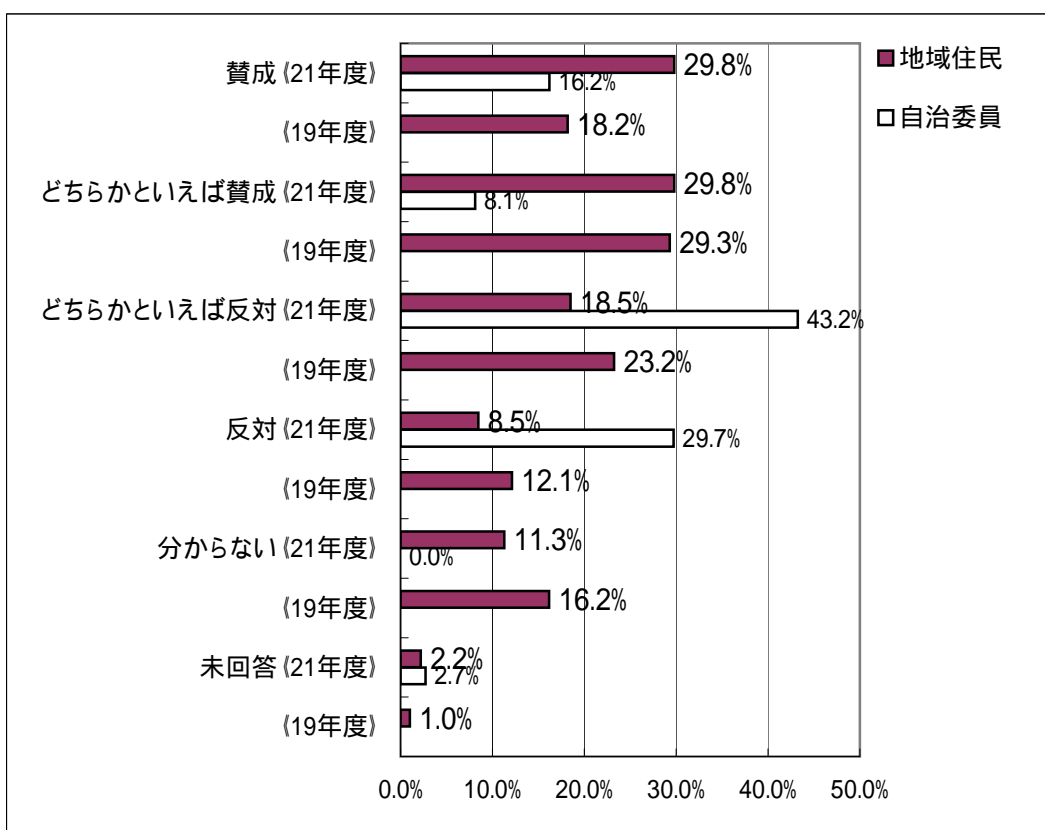
平成19年度アンケート	件数				比率			
	生徒	小学1年保護者	中学1年保護者	小中学校教職員	生徒	小学1年保護者	中学1年保護者	小中学校教職員
保護者や児童生徒の希望で学校が選択できることはよい	507	401	385	87	81.0%	68.5%	70.3%	29.9%
以前のように居住地によって学校が指定された方がよい	64	120	102	184	10.2%	20.5%	18.6%	63.2%
未回答	55	64	61	20	8.8%	10.9%	11.1%	6.9%
合計	626	585	548	291	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



隣接校選択制の実施に賛成ですか。

平成21年度アンケート	地域住民		自治委員	
	件数	比率	件数	比率
賛成	190	29.8%	6	16.2%
どちらかといえば賛成	190	29.8%	3	8.1%
どちらかといえば反対	118	18.5%	16	43.2%
反対	54	8.5%	11	29.7%
分からない	72	11.3%	0	0.0%
未回答	14	2.2%	1	2.7%
合計	638	100.0%	37	100.0%

平成19年度アンケート	地域住民	
	件数	比率
賛成	18	18.2%
どちらかといえば賛成	29	29.3%
どちらかといえば反対	23	23.2%
反対	12	12.1%
分からない	16	16.2%
未回答	1	1.0%
合計	99	100.0%

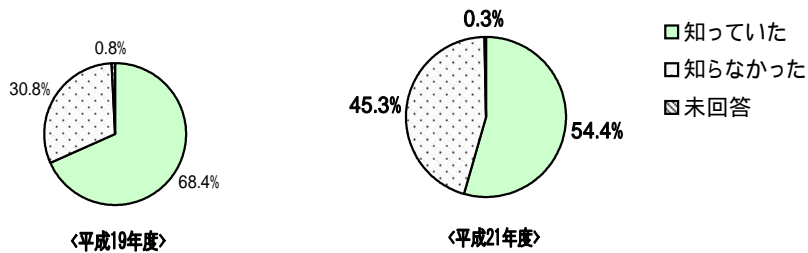


平成21年度 隣接校選択制アンケート 《生徒（中学校1年生）》

質問1 大分市において、平成21年度より隣接校選択制(学校選択制)が実施されていることを知っていましたか。

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
知っていた	428	68.4%	411	54.4%
知らなかった	193	30.8%	342	45.3%
未回答	5	0.8%	2	0.3%
合 計	626	100.0%	755	100.0%

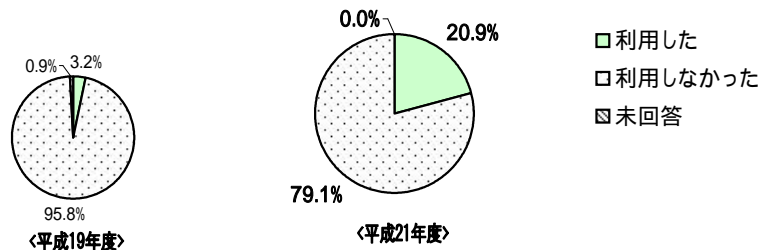
(回答者数:755人)



質問2 今回、隣接校選択制を利用しましたか。

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
利用した	14	3.2%	86	20.9%
利用しなかった	415	95.8%	325	79.1%
未回答	4	0.9%	0	0.0%
合 計	433	100.0%	411	100.0%

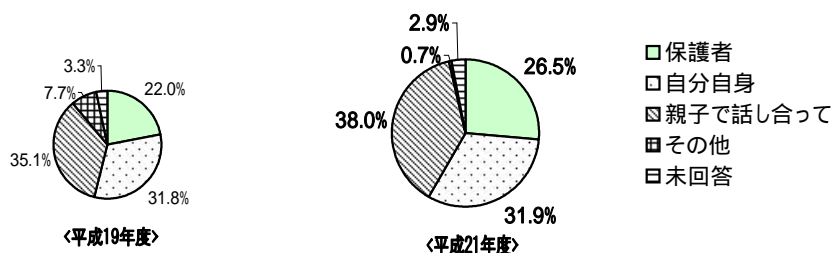
(回答者数:411人)



質問3 入学する学校を決める際に、どなたが判断しましたか。

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
保護者	74	22.0%	109	26.5%
自分自身	107	31.8%	131	31.9%
親子で話し合っ	118	35.1%	156	38.0%
その他	26	7.7%	3	0.7%
未回答	11	3.3%	12	2.9%
合 計	336	100.0%	411	100.0%

(回答者数:411人)

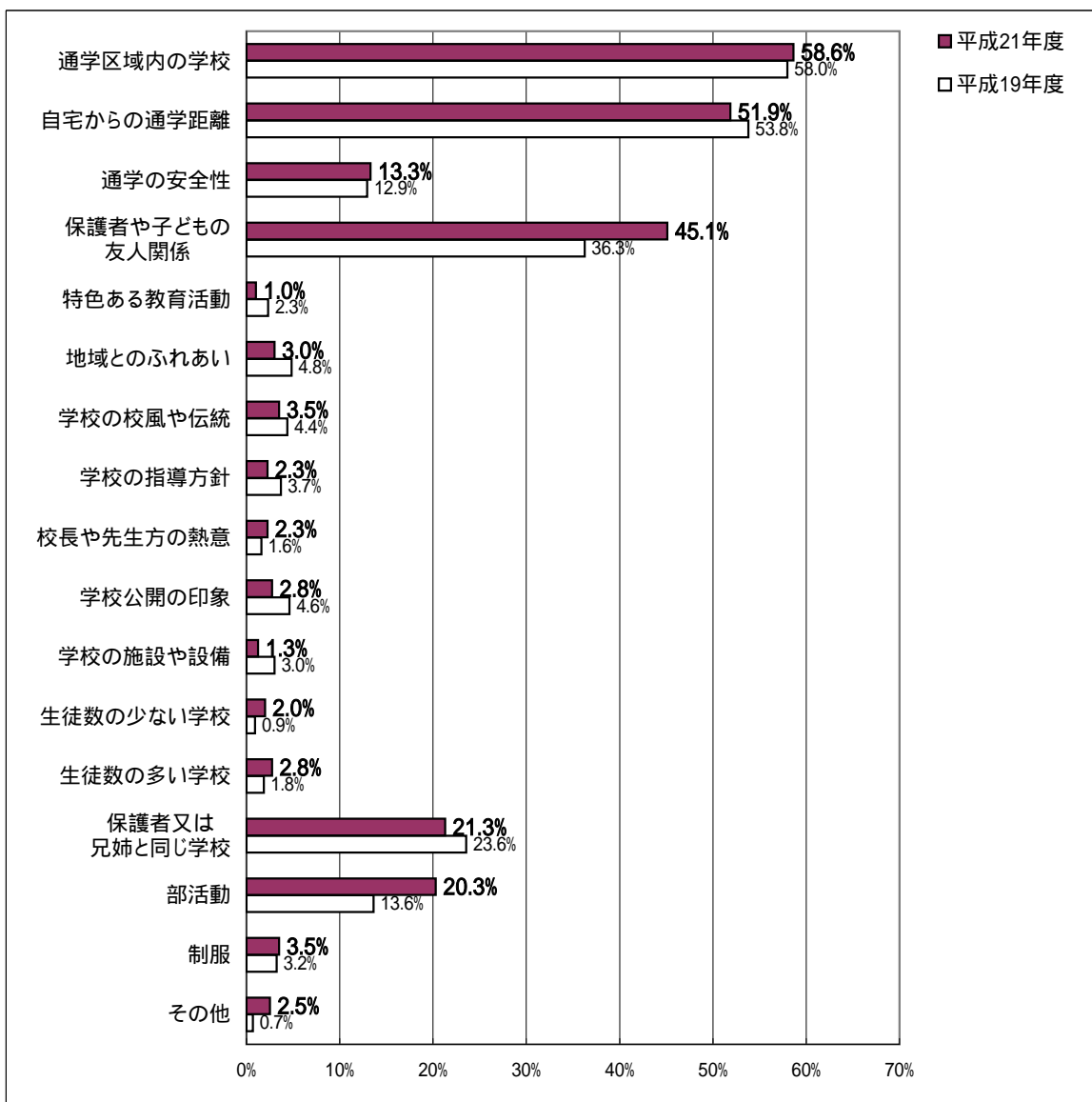


その他の回答
先輩の様子を見て判断した。
小学校入学時に決定していた。

質問4 どのような基準で、入学する中学校を決めましたか。(複数回答可)

(回答者数:399人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
通学区域内の学校	251	58.0%	234	58.6%
自宅からの通学距離	233	53.8%	207	51.9%
通学の安全性	56	12.9%	53	13.3%
保護者や子どもの友人関係	157	36.3%	180	45.1%
特色ある教育活動	10	2.3%	4	1.0%
地域とのふれあい	21	4.8%	12	3.0%
学校の校風や伝統	19	4.4%	14	3.5%
学校の指導方針	16	3.7%	9	2.3%
校長や先生方の熱意	7	1.6%	9	2.3%
学校公開の印象	20	4.6%	11	2.8%
学校の施設や設備	13	3.0%	5	1.3%
生徒数の少ない学校	4	0.9%	8	2.0%
生徒数の多い学校	8	1.8%	11	2.8%
保護者又は兄弟と同じ学校	102	23.6%	85	21.3%
部活動	59	13.6%	81	20.3%
制服	14	3.2%	14	3.5%
その他	3	0.7%	10	2.5%



その他の回答

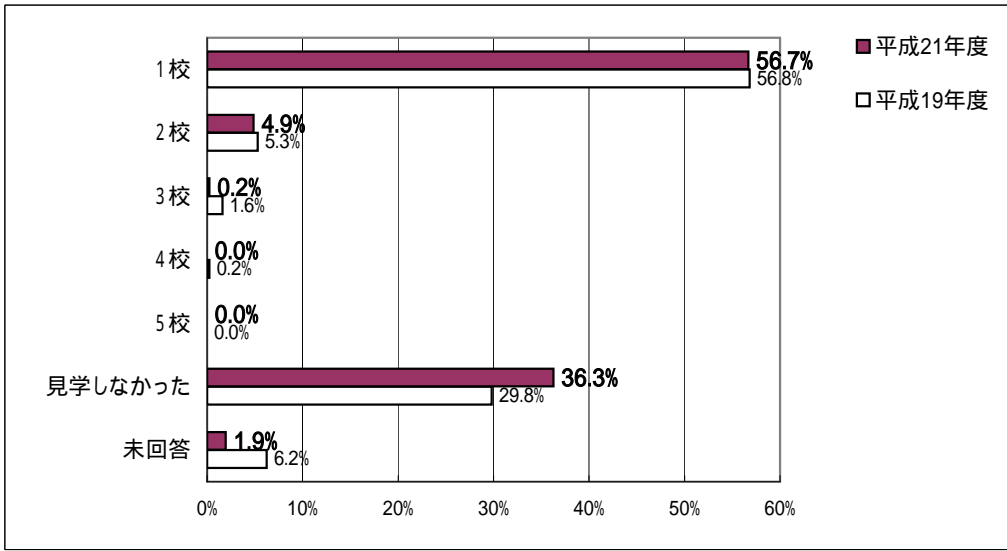
親と相談して。
 いとこが通学している。
 希望する部活動ができる中学校。
 中学受験はしなくなかったから。
 小学校に妹がいるから。

質問5 入学する中学校を決める際に、学校を見学したり、学校行事に参加したりしましたか。

(1) 見学した学校数

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
1校	246	56.8%	233	56.7%
2校	23	5.3%	20	4.9%
3校	7	1.6%	1	0.2%
4校	1	0.2%	0	0.0%
5校	0	0.0%	0	0.0%
見学しなかった	129	29.8%	149	36.3%
未回答	27	6.2%	8	1.9%
合 計	433	100.0%	411	100.0%

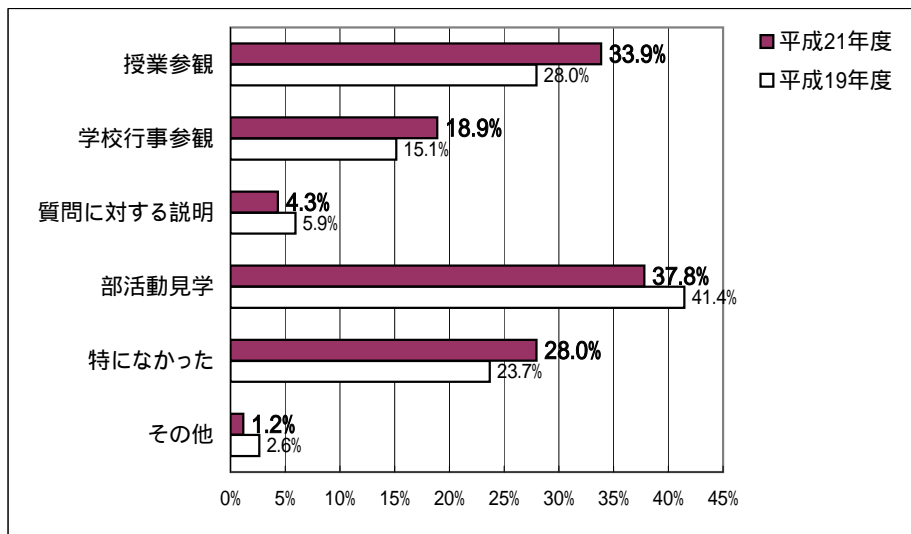
(回答者数:411人)



(2) 見学して参考となった内容は何ですか。(見学した方のみ記入。複数回答可)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
授業参観	85	28.0%	86	33.9%
学校行事参観	46	15.1%	48	18.9%
質問に対する説明	18	5.9%	11	4.3%
部活動見学	126	41.4%	96	37.8%
特になかった	72	23.7%	71	28.0%
その他	8	2.6%	3	1.2%

(回答者数:254人)



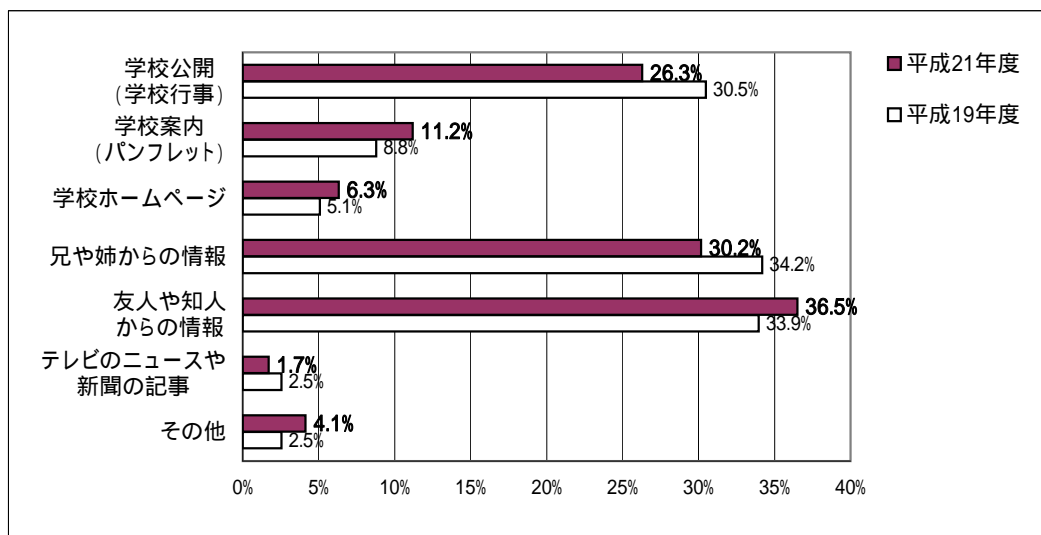
その他の回答

人権の話を聞いた。人権集会。
体験授業
校舎内見学

質問6 各中学校の情報は、どのような方法で入手しましたか。(複数回答可)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
学校公開(学校行事)	132	30.5%	108	26.3%
学校案内(パンフレット)	38	8.8%	46	11.2%
学校ホームページ	22	5.1%	26	6.3%
兄や姉からの情報	148	34.2%	124	30.2%
友人や知人からの情報	147	33.9%	150	36.5%
テレビのニュースや新聞の記事	11	2.5%	7	1.7%
その他	11	2.5%	17	4.1%

(回答者数:411人)



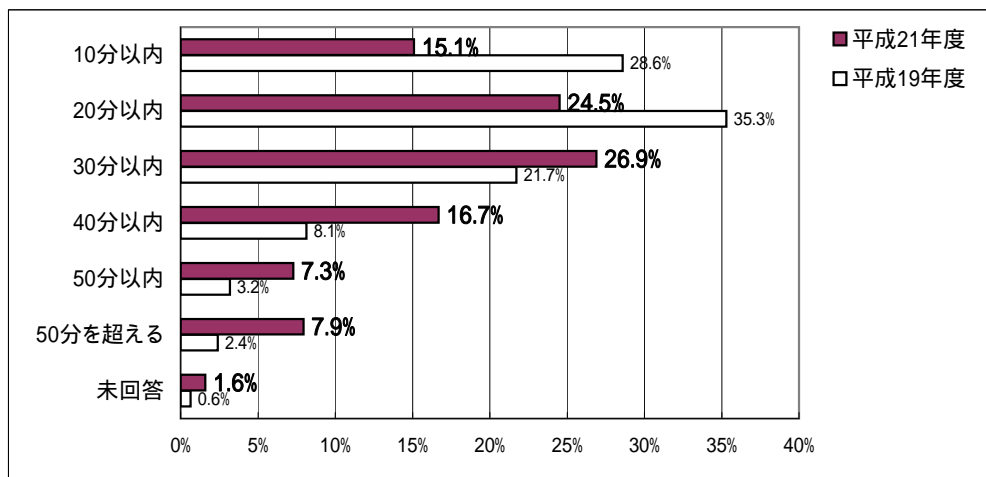
その他の回答

インターネット
 母親の友人からの情報、父が通っていた。親からの情報。
 マンションの屋上から学校の様子を見た。
 引越しの際に入手した。
 オープンスクールで。
 市報を見て。
 学校説明会、学校見学。
 前から知っていた。
 小学校の前に中学校があるから良く分かる。

質問7 自宅から入学した中学校までの通学時間は、徒歩で片道どのくらいかかりますか。

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
10分以内	179	28.6%	114	15.1%
20分以内	221	35.3%	185	24.5%
30分以内	136	21.7%	203	26.9%
40分以内	51	8.1%	126	16.7%
50分以内	20	3.2%	55	7.3%
50分を超える	15	2.4%	60	7.9%
未回答	4	0.6%	12	1.6%
合 計	626	100.0%	755	100.0%

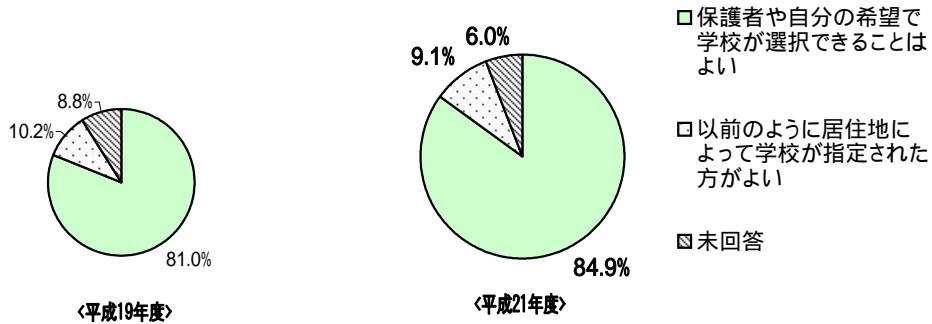
(回答者数:755人)



質問8 今回、隣接校選択制が全市実施されたことについて、どう思いますか。

(回答者数:755人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
保護者や自分の希望で学校が選択できることはよい	507	81.0%	641	84.9%
以前のように居住地によって学校が指定された方がよい	64	10.2%	69	9.1%
未回答	55	8.8%	45	6.0%
合 計	626	100.0%	755	100.0%



*** ご意見・ご要望**

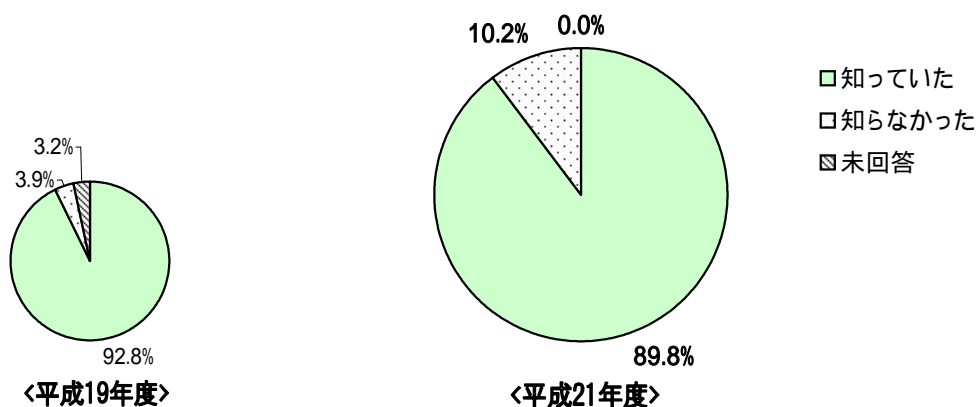
- 抽選で隣接校に入れる人数をもっと増やしてほしい。
- 部活動の関係など、選択制ができてよかった。これからも継続してほしい。
- 学校選択制はない方がいい。
- 隣接校に行こうと思ったが締め切りを過ぎていた。
- 隣接校選択制はいいと思う。とても良いと思う。
- 隣接校選択制を実施した理由がよく分からない。別になくてもいいと思う。
- 学校が遠い人は、登下校時に安全に気をつけた方がいいと思う。
- もっと早くに決まっても良かったと思う。
- 自分が行く学校を自分が決められて良いと思う。
- もっと実用化した方がいい。
- 知人からの情報で転校したが、学校見学ができるのなら見学したい。きちんとした情報を頂きたい。
- よく分からないけど、自由に選ぶより、指定された方がいい。
- 他の学校に行きたかった。
- 隣接校選択制いいと思う。

平成21年度 隣接校選択制アンケート 《小学校1年生保護者》

質問1 大分市において、平成21年度より隣接校選択制(学校選択制)が実施されていることを知っていましたか。

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
知っていた	543	92.8%	1216	89.8%
知らなかった	23	3.9%	138	10.2%
未回答	19	3.2%	0	0.0%
合 計	585	100.0%	1354	100.0%

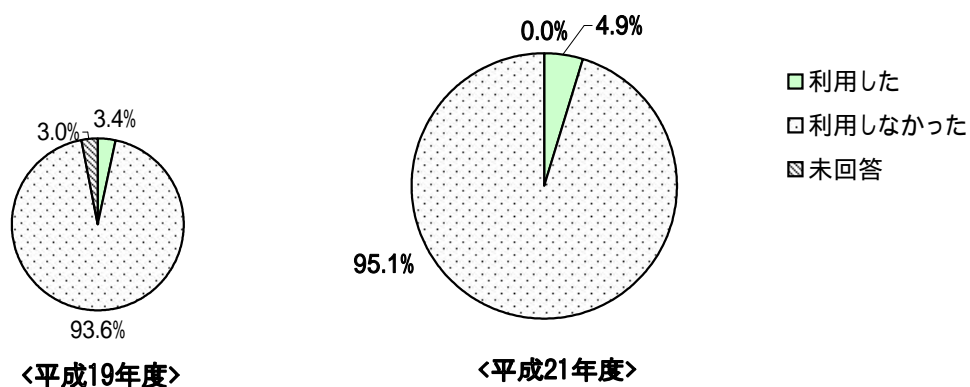
(回答者数:1354人)



質問2 今回、隣接校選択制を利用しましたか。

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
利用した	19	3.4%	59	4.9%
利用しなかった	526	93.6%	1157	95.1%
未回答	17	3.0%	0	0.0%
合 計	562	100.0%	1216	100.0%

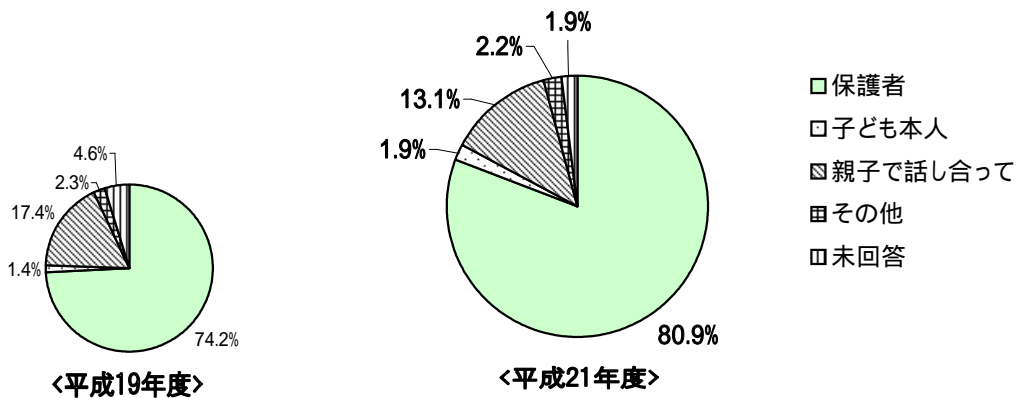
(回答者数:1216人)



質問3 入学する小学校を決める際に、どなたが判断しましたか。

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
保護者	417	74.2%	984	80.9%
子ども本人	8	1.4%	23	1.9%
親子で話し合っ	98	17.4%	159	13.1%
その他	13	2.3%	27	2.2%
未回答	26	4.6%	23	1.9%
合 計	562	100.0%	1216	100.0%

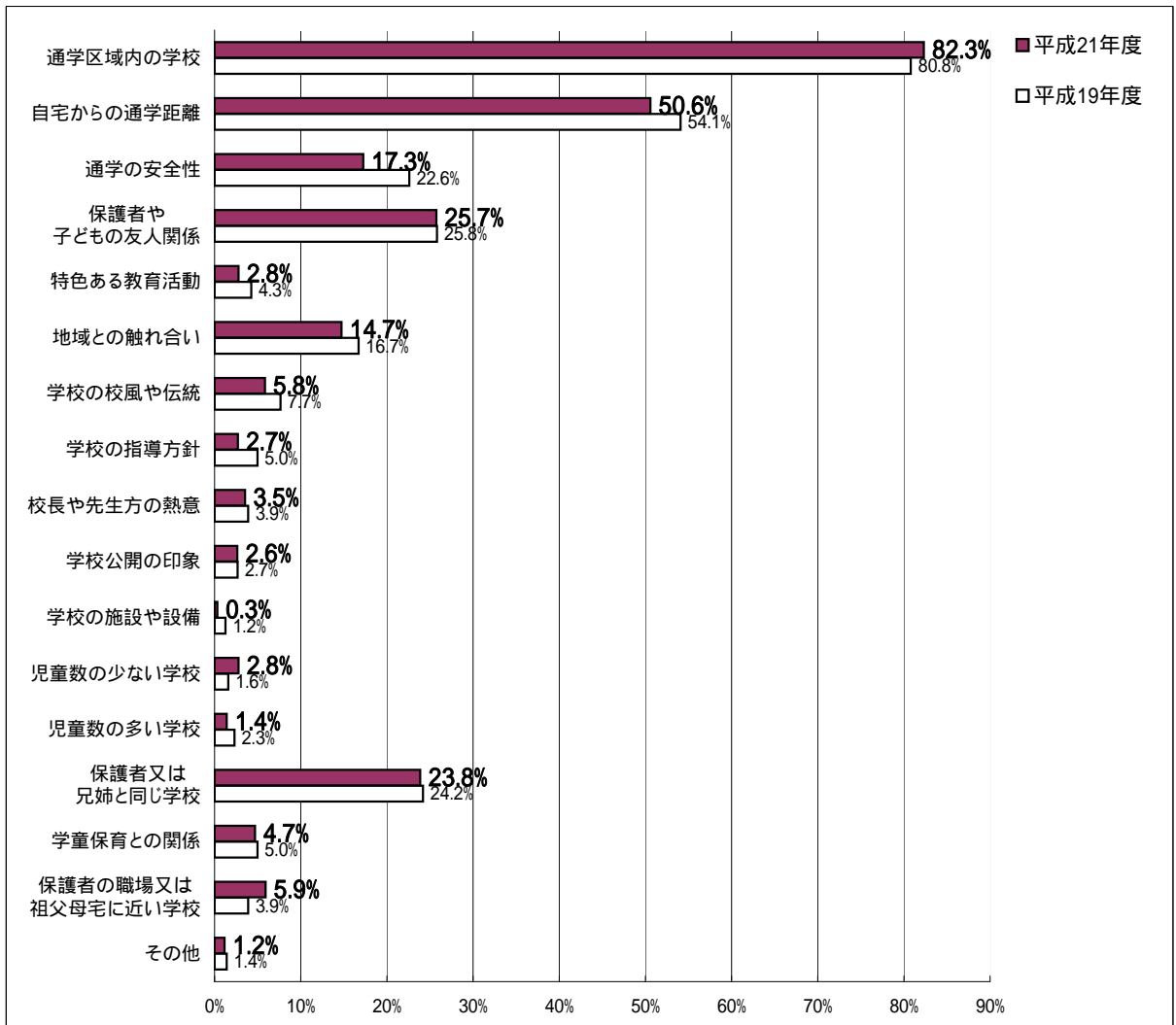
(回答者数:1216人)



その他の回答
 居住地の学校に行くのが当たり前だから、話し合うまでもない。
 家族で話し合った。
 校区内のため、話し合いなどなく指定校へ入学した。

質問4 どのような基準で、入学する小学校を決めましたか。(複数回答可) (回答者数:1216人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
通学区域内の学校	454	80.8%	1001	82.3%
自宅からの通学距離	304	54.1%	615	50.6%
通学の安全性	127	22.6%	210	17.3%
保護者や子どもの友人関係	145	25.8%	313	25.7%
特色ある教育活動	24	4.3%	34	2.8%
地域との触れ合い	94	16.7%	179	14.7%
学校の校風や伝統	43	7.7%	71	5.8%
学校の指導方針	28	5.0%	33	2.7%
校長や先生方の熱意	22	3.9%	43	3.5%
学校公開の印象	15	2.7%	32	2.6%
学校の施設や設備	7	1.2%	4	0.3%
児童数の少ない学校	9	1.6%	34	2.8%
児童数の多い学校	13	2.3%	17	1.4%
保護者又は兄弟と同じ学校	136	24.2%	290	23.8%
学童保育との関係	28	5.0%	57	4.7%
保護者の職場又は祖父母宅に近い学校	22	3.9%	72	5.9%
その他	8	1.4%	14	1.2%



その他の回答

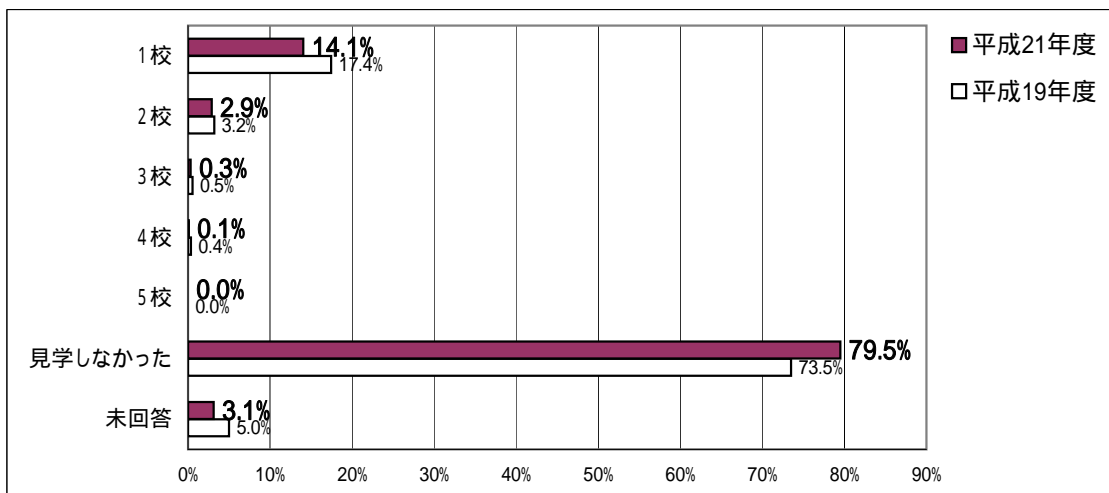
- 保育園の友人関係。
- 居住地の学校より、隣接校選択制で現在通っている学校の方がかなり近い。
- どの学校でも同じような気がする。
- 子ども会の様子。
- 子どもに対する指導、施設設備の様子。
- 住んでいる所から一番近い距離だったため。
- 指定校に特別な問題があるわけではない。兄が通学していて、特に不満もないので。
- 本人の特徴を考慮して。
- 温かい給食が食べられる学校。

質問5 入学する小学校を決める際に、学校を見学したり、学校行事に参加したりされましたか。

(1) 見学した学校数

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
1校	98	17.4%	171	14.1%
2校	18	3.2%	35	2.9%
3校	3	0.5%	4	0.3%
4校	2	0.4%	1	0.1%
5校	0	0.0%	0	0.0%
見学しなかった	413	73.5%	967	79.5%
未回答	28	5.0%	38	3.1%
合 計	562	100.0%	1216	100.0%

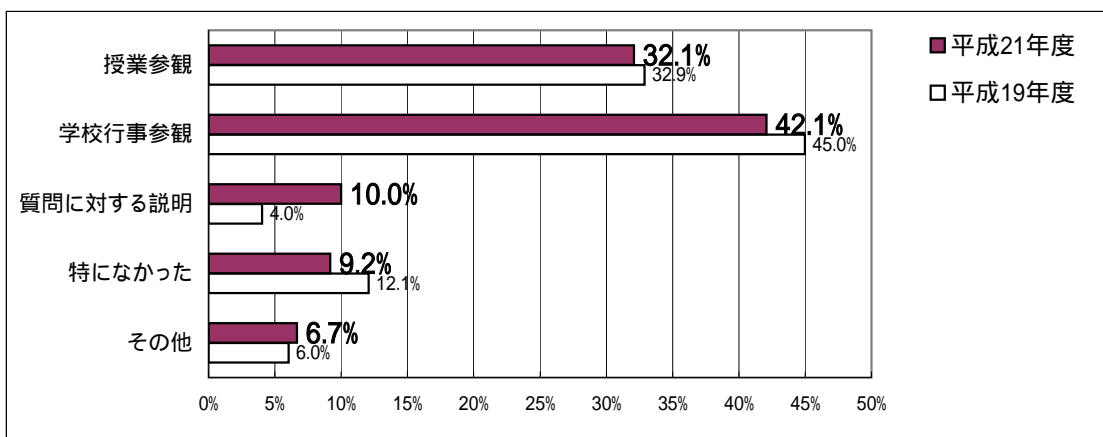
(回答者数:1216人)



(2) 見学して参考となった内容は何ですか。(見学した方のみ記入。複数回答可)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
授業参観	49	32.9%	77	32.1%
学校行事参観	67	45.0%	101	42.1%
質問に対する説明	6	4.0%	24	10.0%
特になかった	18	12.1%	22	9.2%
その他	9	6.0%	16	6.7%

(回答者数:211人)



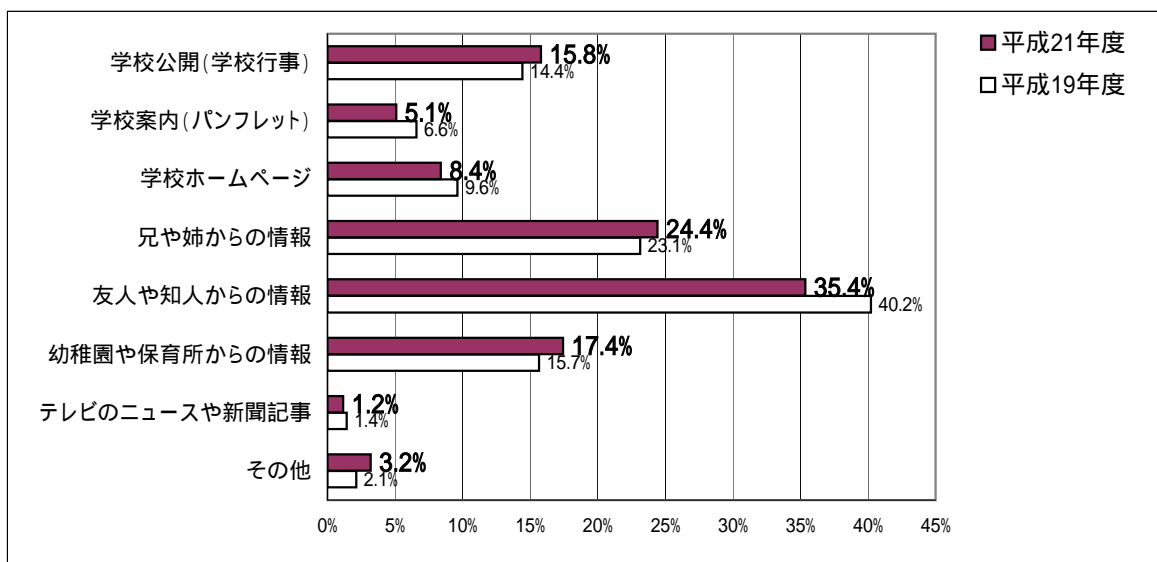
その他の回答

- 在校生の仲のよさ
- 就学時健康診断の様子
- 在校生のはきはきした口調やきちんとした態度がよかった。
- 校長先生の印象
- 保護者説明会
- 地域の人に対しての公開見学

質問6 各小学校の情報は、どのような方法で入手しましたか。(複数回答可)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
学校公開(学校行事)	81	14.4%	192	15.8%
学校案内(パンフレット)	37	6.6%	62	5.1%
学校ホームページ	54	9.6%	102	8.4%
兄や姉からの情報	130	23.1%	297	24.4%
友人や知人からの情報	226	40.2%	430	35.4%
幼稚園や保育所からの情報	88	15.7%	212	17.4%
テレビのニュースや新聞記事	8	1.4%	14	1.2%
その他	12	2.1%	39	3.2%

(回答者数:1216人)

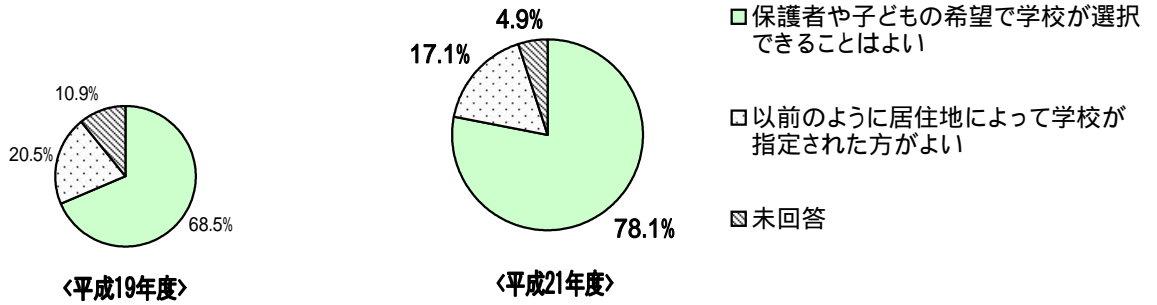


その他の回答

自治会の回覧板で小学校発行の新聞やプリントを見て。
 上の子どもの生活状況。上の子どもが通っていたので、学校の様子は分かってきた。
 付設した幼稚園に行っていたので、校長先生や小学校の先生がとても良かった。
 母校なので様子が分かる。
 仕事の関係で知っていた。
 学童保育環境の視察の際に知った。
 電話で問い合わせた。
 教育委員会で学校案内をもらった。
 市報や情報誌から。
 引越してきた際、不動産会社の人に聞いた。

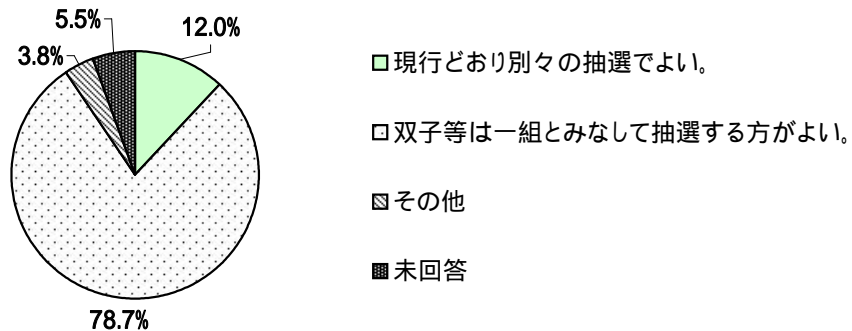
質問7 今回、隣接校選択制が全市実施されたことについて、どう思いますか。 (回答者数:1354人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
保護者や子どもの希望で学校が選択できることはよい	401	68.5%	1057	78.1%
以前のように居住地によって学校が指定された方がよい	120	20.5%	231	17.1%
未回答	64	10.9%	66	4.9%
合 計	585	100.0%	1354	100.0%



質問8 現在、隣接校選択制では、「双子等が、同じ隣接校を選択し、定員を超えた場合は別々の抽選となります。」と定めていますが、どう思いますか。 (回答者数:1354人)

回 答	件数	比率
現行どおり別々の抽選でよい	162	12.0%
双子等は一組とみなして抽選する方がよい	1065	78.7%
その他	52	3.8%
未回答	75	5.5%
合 計	1354	100.0%



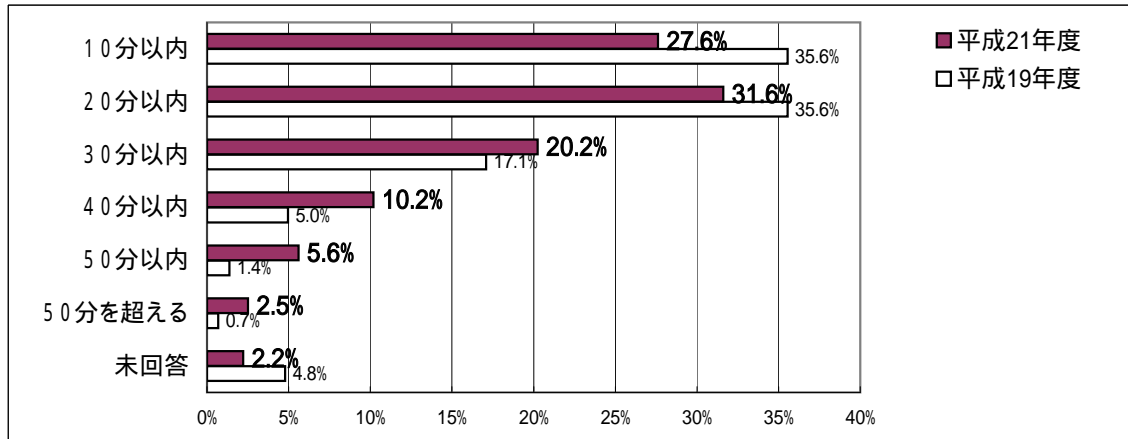
その他の回答

個人の判断に任せるべき。本人の希望にそって対処した方がよい。
 どちらとも言えない。
 どちらがよいかは親の判断だと思う。保護者が選択できればよいと思う。ケースバイケース。
 双子、兄弟は同じ学校の方がいいと思う。
 別々の学校に通うのは、親、子どもの負担が大きい。
 抽選になる段階で連絡をとり、抽選を希望するか聞いたらいいと思う。
 兄弟姉妹や双子が別の学校に通うのは子ども・保護者によくない。選択制を活用すべきでない。
 家庭の事情など配慮すべき点があれば一組とみなしていいと思う。

質問9 自宅から入学した小学校までの通学時間は、徒歩で片道どのくらいかかりますか。

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
10分以内	208	35.6%	374	27.6%
20分以内	208	35.6%	428	31.6%
30分以内	100	17.1%	274	20.2%
40分以内	29	5.0%	138	10.2%
50分以内	8	1.4%	76	5.6%
50分を超える	4	0.7%	34	2.5%
未回答	28	4.8%	30	2.2%
合 計	585	100.0%	1354	100.0%

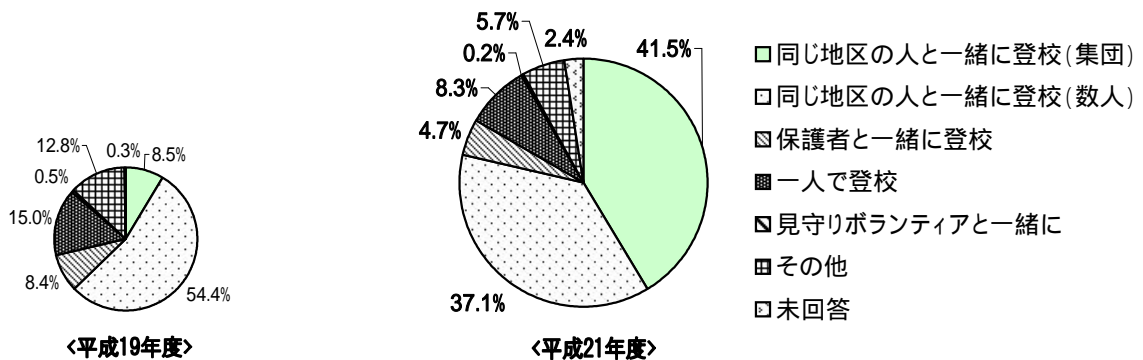
(回答者数:1354人)



質問10 登校はどのようにしていますか。一番多い方法を選んでください。

(回答者数:1354人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
同じ地区の人と一緒に登校(集団)	50	8.5%	562	41.5%
同じ地区の人と一緒に登校(数人)	318	54.4%	503	37.1%
保護者と一緒に登校	49	8.4%	63	4.7%
一人で登校	88	15.0%	113	8.3%
見守りボランティアと一緒に	3	0.5%	3	0.2%
その他	75	12.8%	77	5.7%
未回答	2	0.3%	33	2.4%
合 計	585	100.0%	1354	100.0%

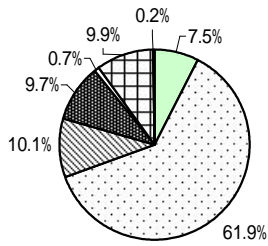


その他の回答

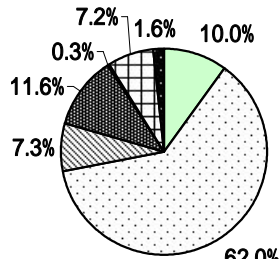
兄・姉と一緒に登校。
 バス通学をしている。
 同じマンションから学区外に通う同級生で登校している。
 隣接校区まで保護者と一緒にいき、その後、登校班の子どもと一緒にいる。
 歩いて通える距離ではないので、車で登校している。
 友だちの家まで保護者と一緒に、後は友だち数人と登校。
 他の校区の人と一緒に登校。

質問11 下校はどのようにしていますか。一番多い方法を選んでください。

	件数	比率	件数	比率
同じ地区の人と一緒に下校(集団)	44	7.5%	136	10.0%
同じ地区の人と一緒に下校(数人)	362	61.9%	839	62.0%
保護者と一緒に下校	59	10.1%	99	7.3%
一人で下校	57	9.7%	157	11.6%
見守りボランティアと一緒に	4	0.7%	4	0.3%
その他	58	9.9%	98	7.2%
未回答	1	0.2%	21	1.6%
合計	585	100.0%	1354	100.0%



＜平成19年度＞



＜平成21年度＞

- 同じ地区の人と一緒に下校(集団)
- 同じ地区の人と一緒に下校(数人)
- ▨ 保護者と一緒に下校
- 一人で下校
- 見守りボランティアと一緒に
- その他
- 未回答

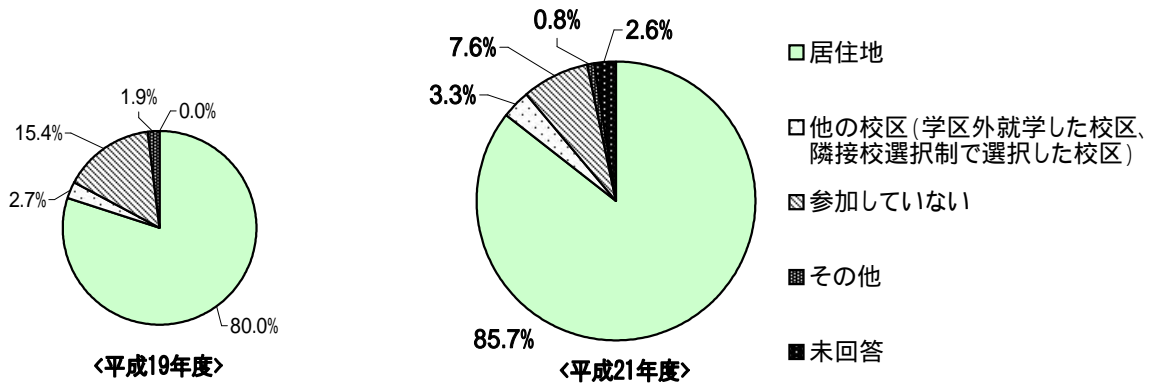
その他の回答

育成クラブに行き、育成クラブの人と一緒に帰る。
 育成クラブに保護者が迎えに行く。
 兄・姉と下校。
 バス通学をしている。
 集団で下校し、一人になる所まで親が迎えに行く。
 日によって異なる。日によって違う友だちと下校する。帰りたい人と一緒に帰る。
 同じマンションから学区外に通う同級生で下校している。
 歩いて帰ることができる距離ではないので、車で迎えに行く。
 習い事の関係で、ほとんど車で迎えに行く。
 地区から学年一人のため、一人で下校する。
 他の校区の人と一緒に下校する。

質問12 この子ども会に参加していますか。

(回答者数:1354人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
居住地	468	80.0%	1160	85.7%
他の校区(学区外就学した校区、隣接校選択制で選択した校区)	16	2.7%	45	3.3%
参加していない	90	15.4%	103	7.6%
その他	11	1.9%	11	0.8%
未回答	0	0.0%	35	2.6%
合 計	585	100.0%	1354	100.0%

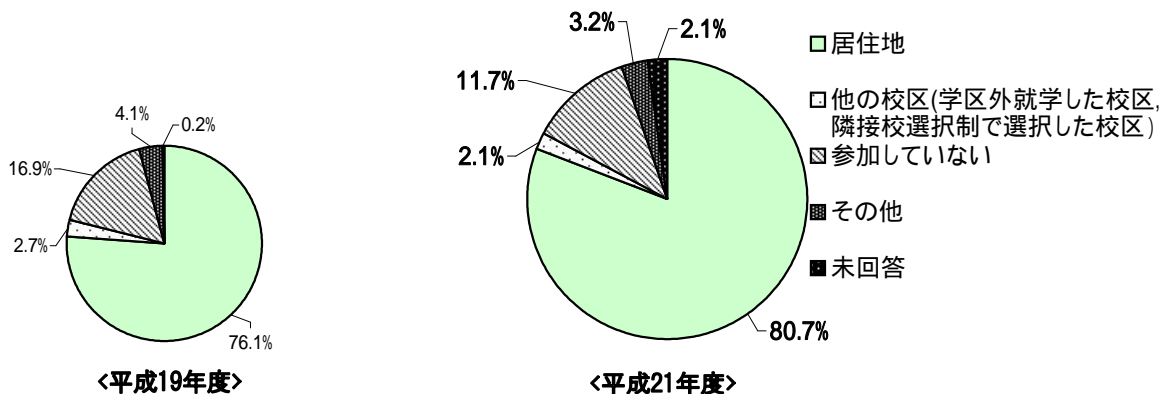


その他の回答
 校区に子ども会がない。
 上の子どもが参加していた子ども会に引き続き入会している。
 隣接校区の中で一番近い子ども会に入会したいと申し入れたが断られた。
 学校の子ども会に参加を希望したが、自治会が違うという理由から参加できなかった。

質問13 夏休みのラジオ体操は、どこでしましたか。

(回答者数:1354人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
居住地	445	76.1%	1093	80.7%
他の校区(学区外就学した校区、隣接校選択制で選択した校区)	16	2.7%	29	2.1%
参加していない	99	16.9%	159	11.7%
その他	24	4.1%	44	3.2%
未回答	1	0.2%	29	2.1%
合 計	585	100.0%	1354	100.0%



その他の回答
 子ども会で実施しない場合、近所に参加した。
 参加したいが、居住地ではラジオ体操がない。
 児童数が少なく実施されなかった。子どもが少なく、数年前からラジオ体操はない。今年はない。
 保護者と一緒に行った。
 近所でも家が遠いため、自宅で行った。
 実家にいたため、実家の地区で実施した。
 朝早くから育成クラブに行っているため、ラジオ体操には不参加だった。

*ご意見・ご要望

選択できることはよいが、与えられた環境の中で頑張らせることも必要だと考える。
兄弟姉妹がいる場合、抽選で別の学校になる可能性もあり、保護者に検討するよう言った方がよい。
居住地ごとに地域がまとまるので、選択制はあまり拡大しない方がよいと思う。
1クラスしかできない学校が、選択制によりもっと少ない人数になってしまうのは残念。
定員があるのがわからない。人数の少ない学校は定員を増やしてもいいのではないか。
人数が少ないから違う学校を選択されるのは、少人数の学校がもっと少なくなる原因になる。
家から遠い場合、登校用のバスがあったらいいと思う。
いじめっ子と別の学校へ行けるのでよいと思う。
隣接校以外でも希望があれば入学できればよいと思う。
校区内であっても長距離の学校に通うことは子どもや親にとって負担が大きい。選択制には賛成。
子どもの生活スタイルと保護者とのスタイルが違うため、学校が選択できるのは良いと思う。
子ども会とラジオ体操に入りにくい。地区の方からお誘いもないので遠慮している。
制度は廃止した方がよい。必要ないと思う。昔のように近くの学校に通わせるのが一番良い。
選択することによって本人にメリットがあるのなら良い制度だと思う。
隣接校の方が近いなど、それぞれの事情により学校が選べるのはいいと思う。
別の地域の人に加わることはあまりよくないと思う。どんな人たちが来るか不安。
中学校入学時に抽選となることが予想されるので不安。
同じ校区内なのに学校が違ったり、子ども会で一緒に活動する機会がなかったりと寂しい。
家庭の事情や通学距離の関係などは仕方ないが、軽い理由で判断されるのは問題だと思う。
利用するか分かりませんが、いい制度だと思う。
抽選になった場合、兄弟が別々の学校になると負担が大きいので、優先的に入れてほしい。
地域の中でも子どもを育ててもらっていると思うので、必要性をあまり感じない。
学校間格差のようなものが生まれるのは好ましくないと思う。
隣接校とはどのくらいの範囲を示すものなのか分からない。
教育熱心な保護者はよりよい環境を求めて校区外へ通学したいという気持ちが生まれると考える。
地域に根ざした子育てをすることが大切だと思う。
居住地で指定された方が色々な意味で安心できる。
少子化で、多い人数の学校に行きたい、行かせたいという親が益々増えるのではないかと思う。
選べるのはよいが、地元が一番だと思う。また、歩いて通うのが原則だと考えている。
隣接校選択制を利用した。親子とも今の小学校に通えてよかった。
定員が決められているので、あまり定員枠を広げすぎずにやってほしい。
隣接校選択制は大変望ましいと思う。
距離的に近い人は、優先的に近い学校に入学できる措置を取ってほしい。
学区外の子どもは子ども会から声がかからず、どうしたらよいのかわからない状況。
指定された遠くの学校に通うより、近い方がよい。上の子の時に選択制があればよかったのと思う。
いじめや不登校が起きた場合、違う学校に行けることで、親も本人も安心かもしれない。
隣接校選択制を利用した。長子の時はこの制度がなかったが、この制度を利用してよかった。
中学校もできたら、そのまま隣接校区に進めるようにしてほしい。
選択制を利用しようと考えたが、地域の方が協力的な居住地の学校に通わせた。制度は必要ない。
入学して地域の方が見守ってくれる中で子どもが安全に登校でき、地域のあたたかさを実感できた。
安易に選択するのではなく、居住地で地域の方々と触れ合わせることも大切なのではないか。
子ども会など分からない事が多かった。入学後も何か説明があると助かる。
入学後の学校生活において、地区児童会、家庭訪問、運動会のテント割りなど対応が気になる。
保護者が働いている場合、両親の所から登校ができ、連絡も取れるので、すごくよい制度だと思う。
道1本で違う校区になることがある。希望を取ることは良いと思う。
制度を知ったのが遅かったので、もっと早くに説明会があつてほしかった。
各校の特色等をもっとアピールした方がよい。親は子どもが楽しく学校に行けばそれだけでいい気もする。
隣接校選択制は必ずしも希望通りになることはないでは意味がない。
学校の特色等での選択は競争を招く要素であり必要ない。いじめなどの場合は選択すべきだと考える。
家族みんなが働いており、勤務地の近くを選んですごく良かった。
目先の数値にとらわれないでほしい。テストの点が良ければ良いというものではない。
入学前に限らず、入学後も隣接校選択制を使えるようにしてほしい。もっと柔軟に対応してほしい。
兄弟も抽選で別々になるかもしれない。中学校もその校区に入れるか分からないということも困る。
校区境の人は個別に相談を受けて対応する。選択するということはやめた方がよいと思う。
通学時間、通学距離を考えての隣接校選択制が好ましいと思う。
最寄りの地区の子ども会に入会できた。しかし回覧板が回ってこないで地区の情報が得にくい。
他校に通っている子どもは、居住地の子ども会、ラジオ体操に参加していない。難しい面がある。
地域の繋がりに興味を持つことが将来の地域を愛し、地域を盛り上げていく活力ある人間を育む。
ただでさえ子どもが少ないのに、親のエゴで地域を分断するような選択制は理解に苦しむ。
近所に同じ年頃の子どもがいても、他の小学校を選択した場合、交流があまりなく残念。

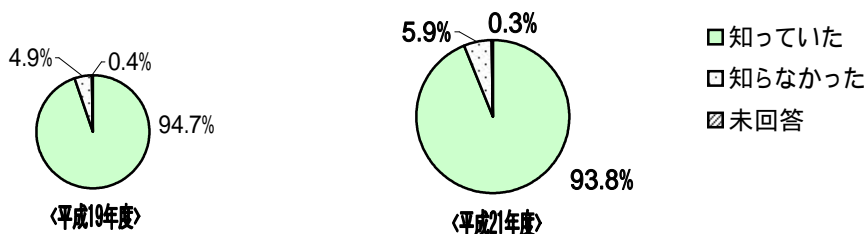
この制度を継続するのであれば、学校にはより細かな対応をしてもらいたい。
もう少し学校の情報を公開してほしい。
上の子と同じ学校に行けてとても助かった。住んでいる地区の学校より近いし、安心である。
就学時健康診断を隣接校で受けさせてほしい。
隣の校区の子ども会に問い合わせたが断られた。集団登校や子ども会行事などにも参加したい。
実態は隣接でない地域の学校が近い場合がある。隣接の定義を考えなおすことはできないか。
子ども会の役員になった場合など、学区外の人のお世話をするのが大変。
選択制を利用した。隣接校区の方には、何かできることがあれば恩返しや手伝いをしたい。
小学校入学時から必要なか疑問。
隣接校を選択すると通学距離が長くなることもあるので、安全面を考えてほしい。
スポーツをさせるのに選択ができることは良いが、近くの子が別の学校に行くのはさみしい。
小規模校は保護者や地域住民の協力が不可欠になっており、子どもたちの目線で考えてほしい。
小学校は保護者の考えで決めることになる。子どもの意見、地域の事も考えられる制度に。
運動会で学区外のみテントが用意されなかった。学区外の児童の臨機応変な対応をお願いしたい。
中学校の人数が多すぎるように感じる。格差みたいなものがないか少し不安。
学校を選択できるのは良いが、同時に校区の見直しも必要だと思う。
親と子どもが納得していれば問題はないと思う。
どの学年でも選択できればいいと思う。通学時間がかかりすぎるのは、安全面からもよくない。
学校を選べることで、それぞれ地域の特色が生かされていて、改めて校区内の良さも実感できた。
選択して校区外になった場合の対応等がよく分からない。説明不足。
小学校は必要ない。中学校は部活等もあるから必要だと思う。
居住地域の方々と交流し親交を深めた方が、助け合いが必要な場面がやってくるのでいいと思う。
今年3月に他県から転居してきたので、隣接校選択制を知らなかった。
希望者が全員入学できない時があり、抽選があっかわいそうな気がする。
学校が特色や郷土色を出せばよいと思う。
本人、保護者が選べるのはよいが、地域との交流が希薄になりやすいのではないか。
固定されるより、選ぶことができるのは良いと思う。今後のやり方次第だと思う。
学校によって差ができて、方法を工夫することでレベルアップが図れる。働く人にはありがたい。
放課後の普段の友だち付き合いが薄くなることは子どもにとって良くない。
定員を取り払い、希望者の多い学校にはその分の予算・人員を回すべきである。全員受け入れ。
地域によってはよい制度だと思う。
保護者が過剰になりすぎないようにする必要がある。部活もバランスのよい設置を望みたい。
部活のために他の学校を選ぶため、居住地の学校の人数が減り、部活も減ってしまう。
子どもが一人で通学できる範囲ならいいが、親のエゴで安易に遠くの学校に行くのはどうかと思う。
まだ普及していないが、校区、地区とも受け入れがよければいいシステムだと思う。私は満足している。
共働きなどの事情で祖父母宅の地域の学校に通うことができれば助かる方も多いと思う。
保護者への手続きの説明がまったくなく、とても不親切だと思った。やりたくないという意志の表れ。
学校間の競争をあおり、保護者や地域が不必要な優越感や劣等感を持つようになる気がする。
選択できることで気持ちの余裕が生まれ、地域活動等もよいものを取り入れ、情報交換等しやすくなる。
学校生活で子どもが困ることのないよう、選択理由に条件(規制)を設けた方がよいのではないか。
学校＝地域みたいなのところがあるので、地域に慣れるのが大変だと思う。
地域との繋がりを考えても、なぜこのような制度に仕組みがかわりつつあるのか分からない。
下校後の子どもの遊びなど地域に入れなかったりするのは、かわいそうだと思う。
地域の人々のふれあい、遊びの広がりがあり、校区にある学校に行く方がよい。
色々な事情で希望される方にとっては、選べる自由があるということはよいことだと思う。
制度化するよりも行政が臨機応変に選択希望する家庭へ対応すればいいと思う。
特別な特色ある教育をしている場合以外は、隣接校を選択したりしない。
同じ地域でも、違う学校に行っていると、子ども同士が仲良くなってない気がするので、残念だ。
近くに学校があるのに、友人関係や部活動で学校を選ぶようになれば、栄えない学校が出てくる。
学校行事参観日が、隣接校選択制の締切日より後になっていた学校があった。
実際に選択制を利用した人の話が聞ける場があればいいと思う。
選択制以外に学区外就学の制度があることを知らない方も多いので、説明会の際に伝えるべき。
地区の子ども会の参加などに困るのではないか。
校風、人数、学童保育の有無で悩まれた方は数多くいるはず。隣接校選択制は大変良いと思う。
選択制も考えたが、家からの距離が同じくらいだったので、校区の学校を選んだ。
近所と同じ学校の子がいなくて、親も子も近所で孤立するような思いをすることもあると思う。
説明が詳しく記載されたものがほしい。
もっと市報などで情報提供をした方がよい。制度の積極的なPRをしてほしい。
二ーズの把握、制度導入の協議など、不十分なまま移行したことを含めて制度には反対。
抽選より、保護者の仕事の都合や子どもの性格などを考慮し、優先順位で決定する方がよい。

平成21年度 隣接校選択制アンケート 《中学校1年生保護者》

質問1 大分市において、平成21年度より隣接校選択制(学校選択制)が実施されていることを知っていましたか。

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
知っていた	519	94.7%	649	93.8%
知らなかった	27	4.9%	41	5.9%
未回答	2	0.4%	2	0.3%
合 計	548	100.0%	692	100.0%

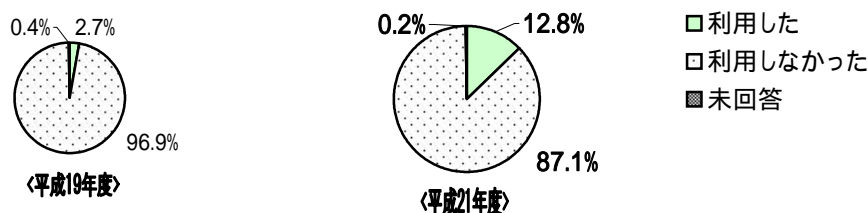
(回答者数:692人)



質問2 今回、隣接校選択制を利用しましたか。

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
利用した	14	2.7%	83	12.8%
利用しなかった	505	96.9%	565	87.1%
未回答	2	0.4%	1	0.2%
合 計	521	100.0%	649	100.0%

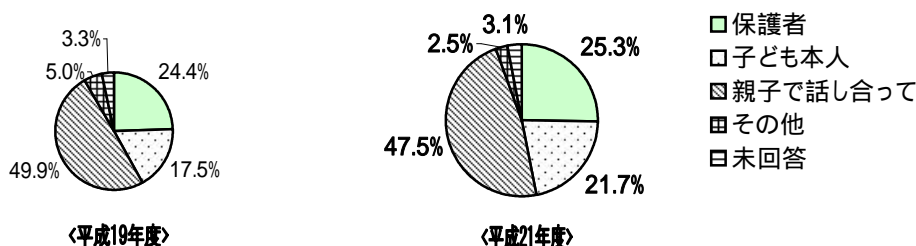
(回答者数:649人)



質問3 入学する中学校を決める際に、どなたが判断しましたか。

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
保護者	127	24.4%	164	25.3%
子ども本人	91	17.5%	141	21.7%
親子で話し合っ	260	49.9%	308	47.5%
その他	26	5.0%	16	2.5%
未回答	17	3.3%	20	3.1%
合 計	521	100.0%	649	100.0%

(回答者数:649人)



その他の回答

みんなと同じ学校に行きたかったが、今となっては隣接校選択制があっ

てよかった。

兄や姉も通学しており、特に話し合うことはなかった。

親と子どもの意見が違い、最終的には子どもの判断を優先した。

転居して校区内の学校に入学した。

自然に地域の指定校へ。特に選択することは考えなかった。

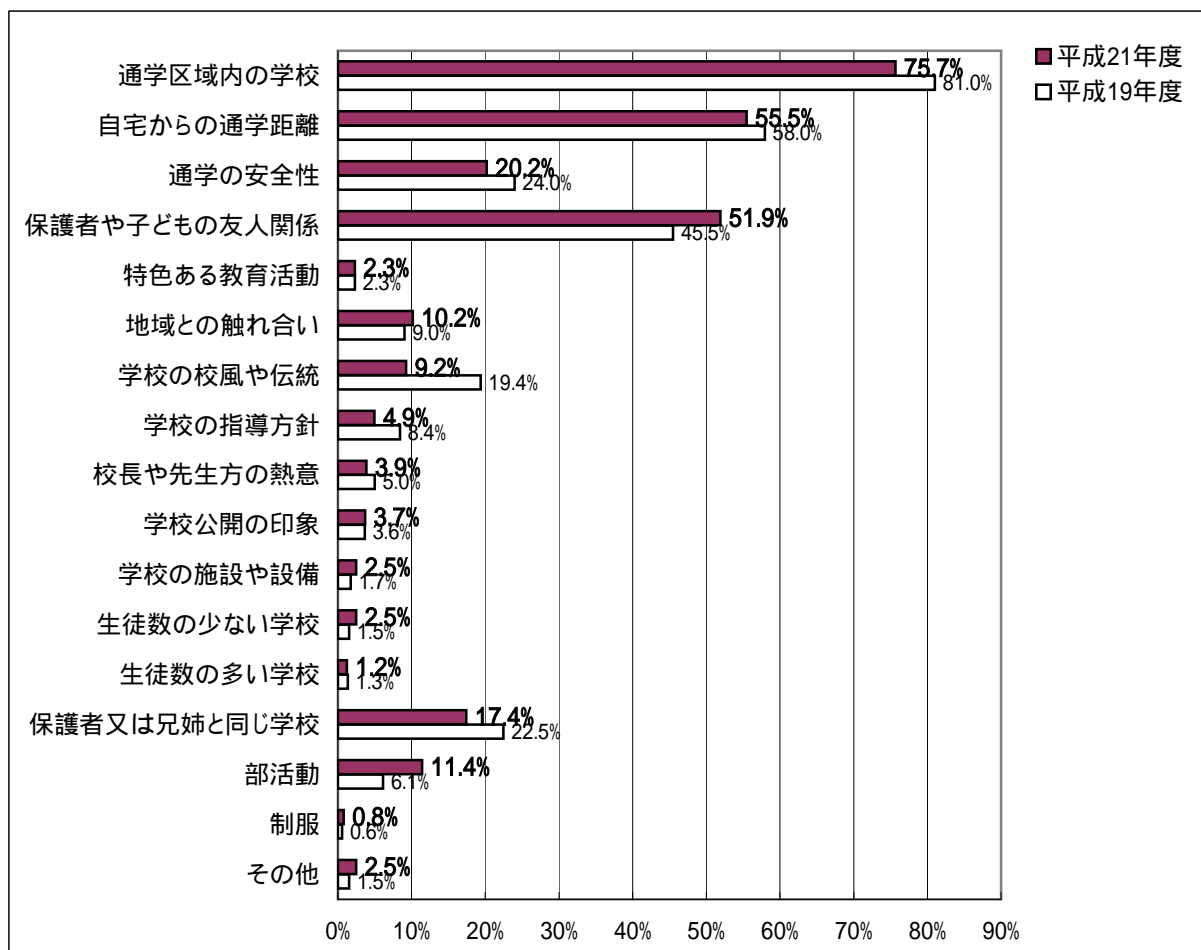
通学区域の学校以外の学校に行くことは考えなかった。

通学距離と通学方法のことで他校へは行けない。

通学区域内のため、誰かが判断するという事はなかった。

質問4 どのような基準で、入学する中学校を決めましたか。(複数回答可) (回答者数:649人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
通学区域内の学校	422	81.0%	491	75.7%
自宅からの通学距離	302	58.0%	360	55.5%
通学の安全性	125	24.0%	131	20.2%
保護者や子どもの友人関係	237	45.5%	337	51.9%
特色ある教育活動	12	2.3%	15	2.3%
地域との触れ合い	47	9.0%	66	10.2%
学校の校風や伝統	101	19.4%	60	9.2%
学校の指導方針	44	8.4%	32	4.9%
校長や先生方の熱意	26	5.0%	25	3.9%
学校公開の印象	19	3.6%	24	3.7%
学校の施設や設備	9	1.7%	16	2.5%
生徒数の少ない学校	8	1.5%	16	2.5%
生徒数の多い学校	7	1.3%	8	1.2%
保護者又は兄姉と同じ学校	117	22.5%	113	17.4%
部活動	32	6.1%	74	11.4%
制服	3	0.6%	5	0.8%
その他	8	1.5%	16	2.5%



その他の回答

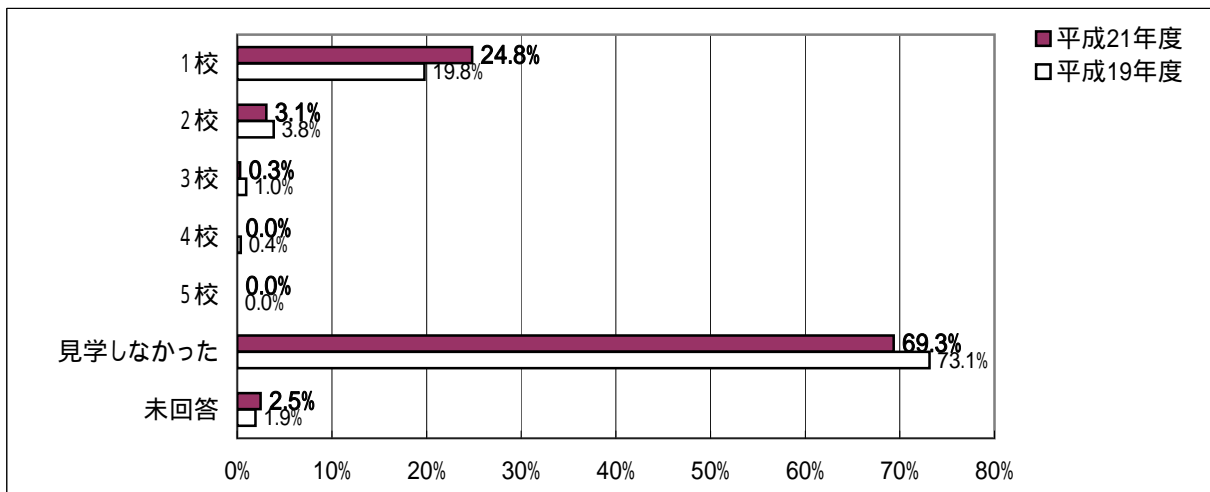
特に話し合っただけで決めたわけではない。
 見学した学校に行かせている保護者から学校の話などを聞いた。
 学校の環境、生徒の態度、生活など。
 子どもたちの姿。授業態度が落ち着いていた。
 子どもの気持ちに沿って決めた。子ども本人の希望により。
 卒業した生徒に知り合いがいる。
 地域の学校だから。
 知人から聞いた。
 小中一貫校なので。
 選択制の定員が少なかったので、やむを得ず。
 自分の地域の中学校を活性化させたい。
 仕事の都合で、祖父母の力を必要とした。

質問5 入学する中学校を決める際に、学校を見学したり、学校行事に参加したりされましたか。

(1) 見学した学校数

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
1校	103	19.8%	161	24.8%
2校	20	3.8%	20	3.1%
3校	5	1.0%	2	0.3%
4校	2	0.4%	0	0.0%
5校	0	0.0%	0	0.0%
見学しなかった	381	73.1%	450	69.3%
未回答	10	1.9%	16	2.5%
合 計	521	100.0%	649	100.0%

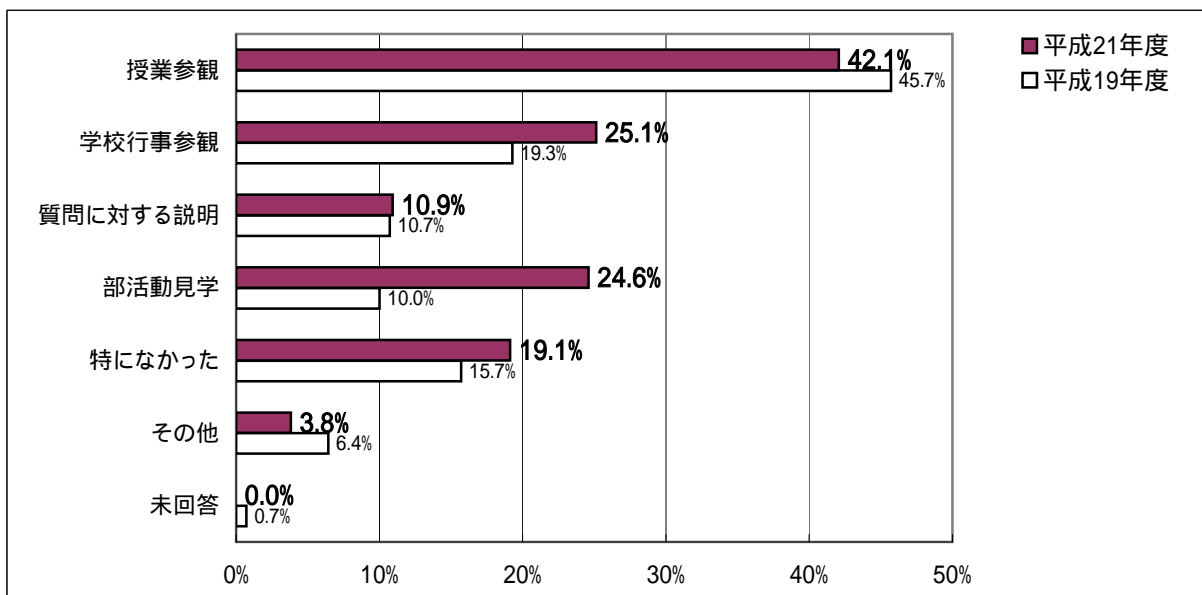
(回答者数: 649人)



(2) 見学して参考となった内容は何ですか。(見学した方のみ記入。複数回答可)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
授業参観	64	45.7%	77	42.1%
学校行事参観	27	19.3%	46	25.1%
質問に対する説明	15	10.7%	20	10.9%
部活動見学	14	10.0%	45	24.6%
特になかった	22	15.7%	35	19.1%
その他	9	6.4%	7	3.8%
未回答	1	0.7%	0	0.0%

(回答者数: 183人)

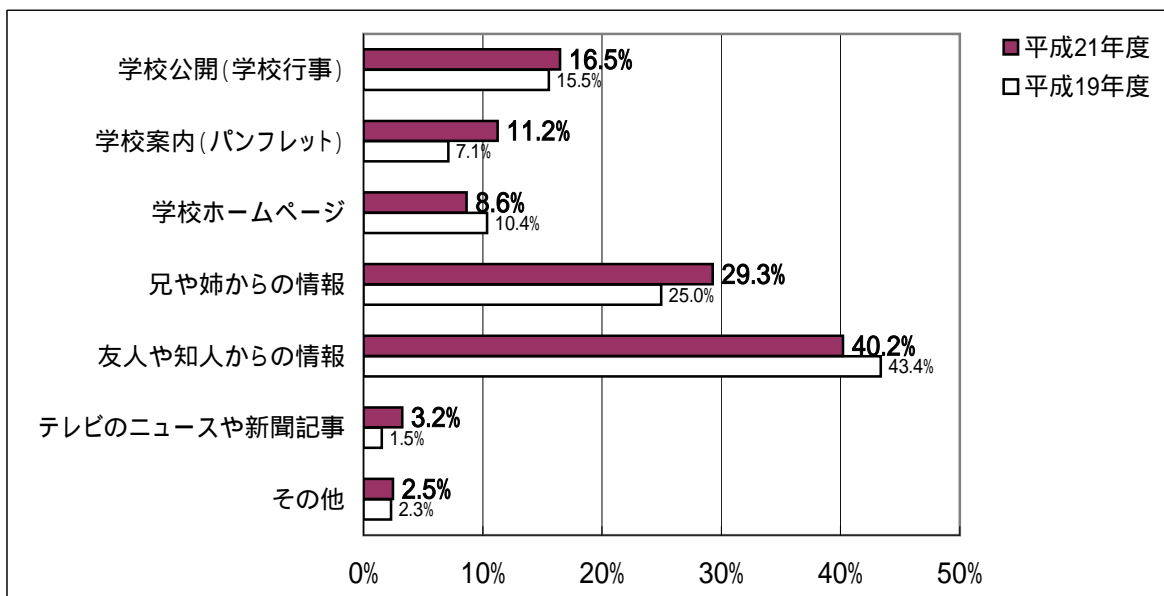


その他の回答
 生徒の礼儀正しさ。
 教育環境、特別支援学級の有無。
 子どもたちの様子。部活説明。学校生活の説明。

質問6 各中学校の情報は、どのような方法で入手しましたか。(複数回答可)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
学校公開(学校行事)	81	15.5%	107	16.5%
学校案内(パンフレット)	37	7.1%	73	11.2%
学校ホームページ	54	10.4%	56	8.6%
兄や姉からの情報	130	25.0%	190	29.3%
友人や知人からの情報	226	43.4%	261	40.2%
テレビのニュースや新聞記事	8	1.5%	21	3.2%
その他	12	2.3%	16	2.5%

(回答者数:649人)

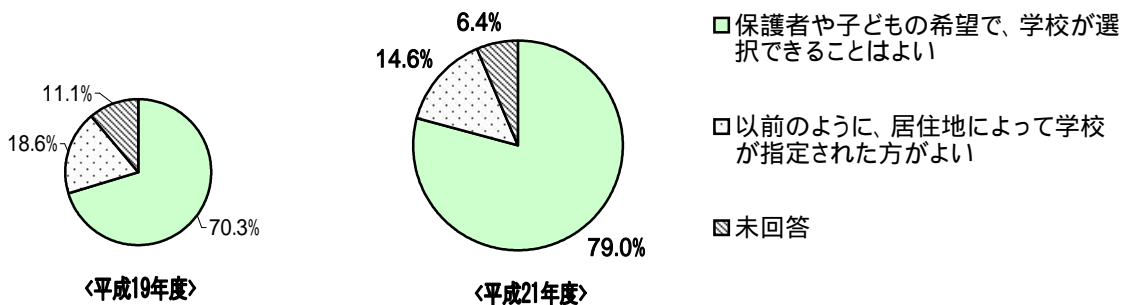


その他の回答

- 地区の回覧板を見て。
- 教育委員会の方から聞いた。
- 親戚が実際に通っているので情報を聞いた。
- 子どもが学校に見学に行った。
- 小学校からの案内。

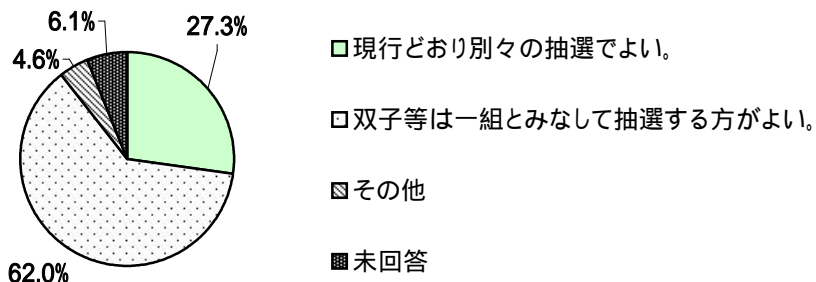
質問7 今回、隣接校選択制が全市実施されたことについて、どう思いますか。(回答者数:692人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
保護者や子どもの希望で、学校が選択できることはよい	385	70.3%	547	79.0%
以前のように、居住地によって学校が指定された方がよい	102	18.6%	101	14.6%
未回答	61	11.1%	44	6.4%
合 計	548	100.0%	692	100.0%



質問8 現在、隣接校選択制では、「双子等が、同じ隣接校を選択し、定員を超えた場合は別々の抽選となります。」と定めていますが、どう思いますか。
(回答者数:692人)

回 答	件数	比率
現行どおり別々の抽選でよい。	189	27.3%
双子等は一組とみなして抽選する方がよい。	429	62.0%
その他	32	4.6%
未回答	42	6.1%
合 計	692	100.0%



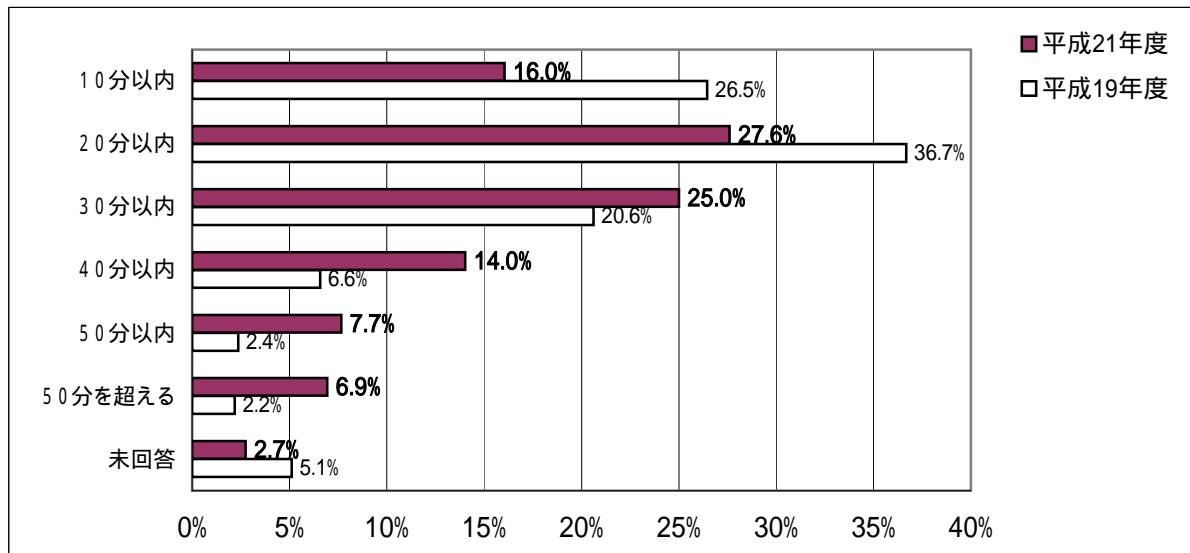
その他の回答

双子は一組で考えてほしい。
 臨機応変に対応したらいいと思う。
 その子ども、その保護者による。
 本人たちの意向を尊重する。
 当人の希望するとおりに対応することで良い。
 家庭によって事情が違うので、あらかじめアンケート等で意見を把握すれば良いと思う。
 子どもの意思尊重ができないと思うから、抽選という形はあまりとりたくない。
 希望者が多数いる場合は抽選は辛いと思う。
 抽選で別々になった場合、本人が納得しない場合はどうなるのか。
 公平さを考えると別々の抽選で良いと思うが、親の負担を考えたら一組とみなした方が良いと思う。
 校区外の学校に行くのだから仕方ないと思う。
 状況に応じた柔軟な対応を望みたい。
 双子だからという特別扱いはおかしいと思う。

質問9 自宅から入学した中学校までの通学時間は、徒歩で片道どのくらいかかりますか。

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
10分以内	145	26.5%	111	16.0%
20分以内	201	36.7%	191	27.6%
30分以内	113	20.6%	173	25.0%
40分以内	36	6.6%	97	14.0%
50分以内	13	2.4%	53	7.7%
50分を超える	12	2.2%	48	6.9%
未回答	28	5.1%	19	2.7%
合 計	548	100.0%	692	100.0%

(回答者数:692人)



*** ご意見・ご要望**

親子で中学校の情報を集め、きちんと話し合いをして中学校を選択することができた。学校を選択できるのは良いが、家庭と学校の連携が密になるよう双方の理解と努力が必要。選択制で子どもにあった学校を選ぶことができているが、全員行けないので少し複雑。与えられた環境でうまく生きていくことも将来大切なこと。うわさが広まるのが心配。選択制を利用した。沢山の友人もスムーズに作ることができ、充実した毎日を送れている。県外から転入したので選択制のことは知らなかった。教えてほしかった。選択制を利用し希望校に入学することができた。中学校は魅力ある特色を出した方がよい。通学の負担を考えると、居住地による学校指定は考える余地がある。時代は変化している。隣の子どもがどこに行っているのかわからないので、声がかげにくくなった。地域の中で育てるといって一方で、選択制は矛盾していると思う。良い制度だと思う。通学の距離とかを考えた時に、隣接校の方が近い場合がある。定員は決めない方がよい。諸事情で校区の学校に通えない場合など、制度が無駄になる。兄妹なのに抽選で別々になる場合があったりするのはおかしいと思う。隣接校の情報は自分で調べることになるので、あらかじめ知らせてほしい。格差が広がりがつつある。人気の学校は先生や生徒が集まり、意欲も高くなっている気がする。選択制は必要ないと思う。隣接校選択制は良いと思うが、通学が大変なのではないかと思う。各々の事情をやり直したり、やり直すきっかけにするには良い。偏りや人数は考慮が必要だ。部活のために他校を選ぶのは少し違うと思う。校区内の学校に入学する方がよい。安易に選択できることはどうかと思う。ある程度理由が説明できる方を選択した方がよい。近距離ということで希望して、他の理由が優先され、兄弟姉妹が離れてしまうことが残念。居住地によって学校が指定された方がよい。しかし、校区の境界線は見直しが必要。申請が面倒で利用しなかった人もいると聞いている。小学校が窓口であれば良いと思う。今後も発展的に進められることを願っている。入学後に隣接校への転校はできるのか。色々なリスクを踏まえて隣接校に行きたいと考える人がいる以上は良いのではないかと。子どもは、やりたい事ができる学校が選べて良い。保護者は知人がいないので分かりづらい。子どもの希望校に入学でき良かった。目的に向かって懸命な姿を見て、親も安心している。兄弟で隣接校選択制を希望しているので、なるべく抽選という形は無くしてもらいたい。生徒数の多い地域は、分校などの形に分けても良いのではないかと。通学に時間がかかる。

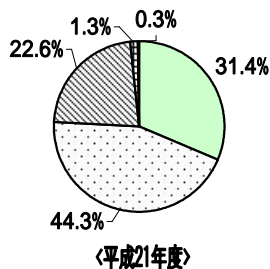
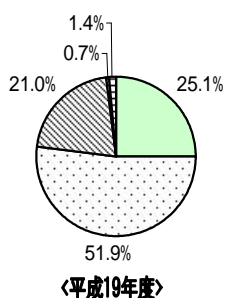
必要性を感じずかえって戸惑う。学区外就学許可制度もある為、安易な選択はどうかと思う。
中学校の公開日に子どもと保護者で一緒に行ってみる時間を取れると良いと思う。
子どもが行きたい学校を選べるということは、選択の幅が広がりいいと思う。
自転車通学が可能であれば、「学校から km以上」などの条件を最初から記載してもらいたい。
隣接校選択制が良かったか悪かったかは、入学して学校生活を始めてみないと分からない。
家庭の事情もあると思うので、選択できることは良いと思う。
隣接校選択制できたので登校できるようになり、深く感謝している。
隣接校を希望すると学校内で問題があってもやめられないと聞いた。条件は なくした方が良い。
1つの部活動に多くの人が集中し、中学生の部活動のあり方に疑問がある。
隣接校選択制で選ぶことができ良かった。新1年生のみの限定をもう少し考えてほしい。
通学距離を考えると、なかなか隣接校を選択するのは難しいと思う。
指定校に行きたくないから隣接校を選ぶというのは問題。基本は通学区内の学校で良い。
人気の学校に集中し、学校間に競争や格差が生じるのではないかと心配。
学校数を減らすための制度なら必要ない。選択させるなら隣接という限定は何の意味もない。
中学校から選択する必要はない。自宅から一番近い学校に通学することが望ましいと思う。
この制度でまとまりのない地区が更にばらつくのではないか。数年後に不安を感じる。
大変いいことだと思う。
通学の安全性を第一に選択制を利用した。夜遅くなっても安心している。
小中一貫校だから学校見学の必要がなかった。
定員を増やしてほしい。
学校に差ができ、地域がまとまらない。なぜ隣接校選択制を作ったのか。
指定校は隣接校に行かないように魅力ある学校づくりをしてほしい。学力的にも気になる。
地域の繋がりが弱くなるので淋しい気がする。
良いような、悪いようなで、何とも言えない。
隣接校とあるが、遠すぎて通えない所も含まれている。隣接校の変更も検討してほしい。
メリットもあると思うが、中学生までは地域の絆の中で落ち着いて学べることが基本と思う。
選択制の抽選については、兄弟姉妹についても配慮がある方が良いと思う。
今後もこのようなアンケートがあると良いと思う。
徒歩では通学できない。指定校へ徒歩で行ったことは保護者でもない。
隣接校選択制にどの程度の割合で保護者が賛成したのか疑問。余り好ましく思っていない。
現在は入学時しか選択できないが、1年終了後にも選択できたらいいと思う。
子どもの将来を考えて学校を選ぶことは良いと思うが、地域格差が心配。学校の充実を望む。
中学は義務教育であり、選ぶのは高校からで良い。過疎問題等もあり、地域の崩壊に繋がる。
校区外の学校に行く意味があるのか。子どもの意思ではなく、親が行かせているのでは。
学年途中の編入制度も取り入れてほしい。
隣接校の方が近いという理由は良いと思うが、今の隣接校選択制には疑問を感じる。
自宅が隣接校区に近い人にとっては、利用を考える機会になる。

平成21年度 隣接校選択制アンケート 《小中学校教職員》

質問1 平成21年度より隣接校選択制が全市実施されていますが、隣接校選択制(手続きの流れも含めて)をどの程度ご存知ですか。

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
理解している	73	25.1%	188	31.4%
だいたい理解している	151	51.9%	265	44.3%
あまり理解していない	61	21.0%	135	22.6%
まったく分からない	2	0.7%	8	1.3%
未回答	4	1.4%	2	0.3%
合 計	291	100.0%	598	100.0%

(回答者数:598人)

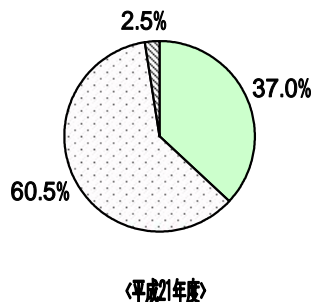
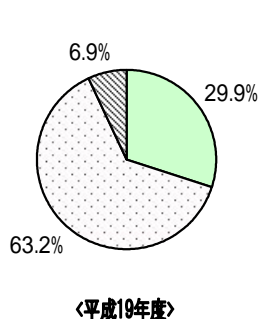


- 理解している
- だいたい理解している
- ▨ あまり理解していない
- 田 まったく分からない
- 日 未回答

質問2 今回、隣接校選択制が全市実施されたことについて、どう思いますか。

(回答者数:598人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
保護者や児童生徒の希望で、学校が選択できることはよい	87	29.9%	221	37.0%
以前のように、居住地によって学校が指定された方がよい	184	63.2%	362	60.5%
未回答	20	6.9%	15	2.5%
合 計	291	100.0%	598	100.0%

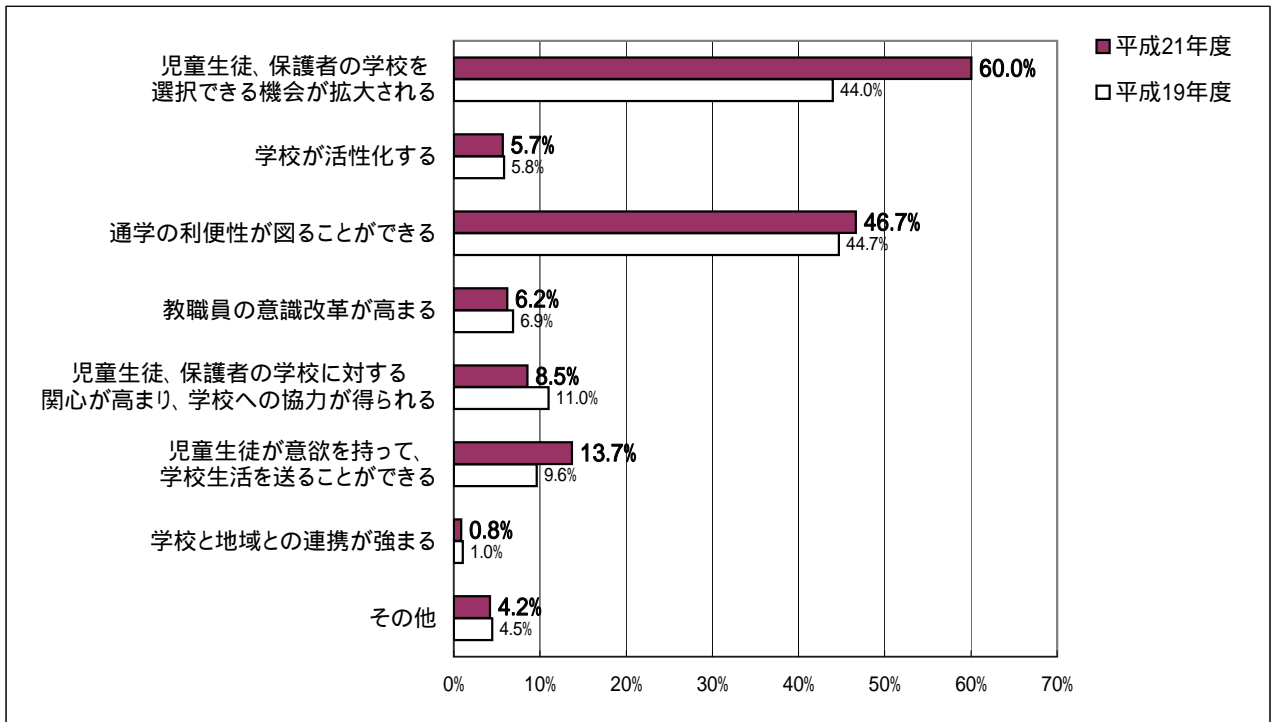


- 保護者や児童生徒の希望で、学校が選択できることはよい
- 以前のように、居住地によって学校が指定された方がよい
- ▨ 未回答

質問3 隣接校選択制のメリットとして考えられることはなんですか。(複数回答可)

(回答者数:598人)

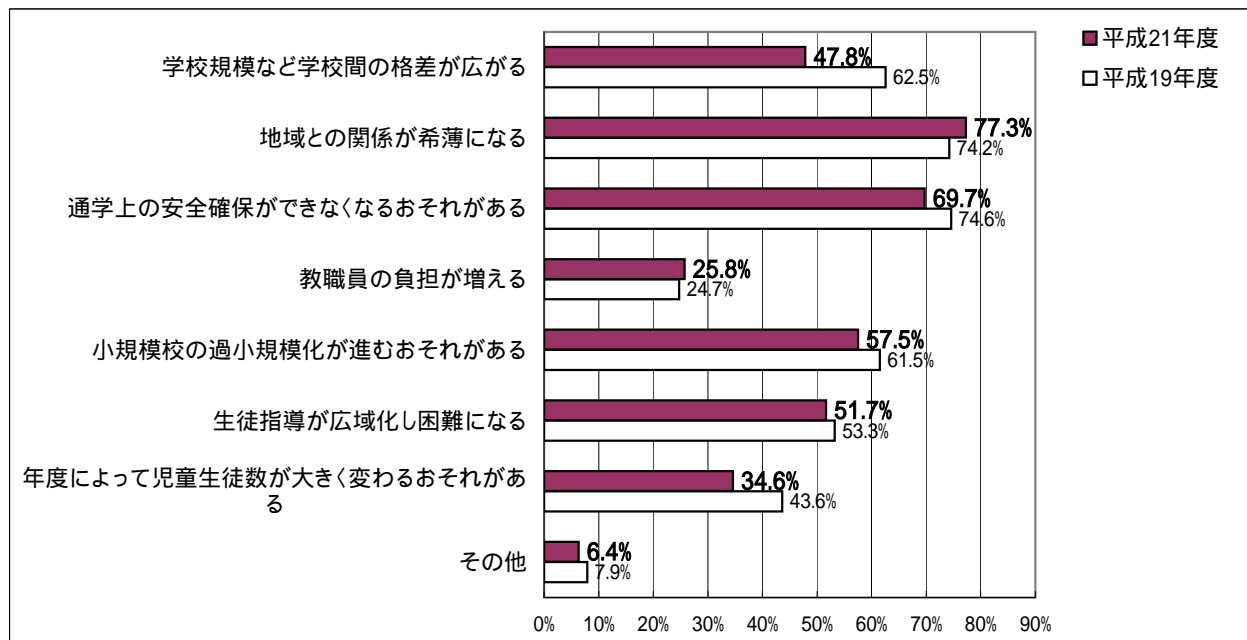
回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
児童生徒、保護者の学校を選択できる機会が拡大される	128	44.0%	359	60.0%
学校が活性化する	17	5.8%	34	5.7%
通学の利便性が図ることができる	130	44.7%	279	46.7%
教職員の意識改革が高まる	20	6.9%	37	6.2%
児童生徒、保護者の学校に対する関心が高まり、学校への協力が得られる	32	11.0%	51	8.5%
児童生徒が意欲を持って、学校生活を送ることができる	28	9.6%	82	13.7%
学校と地域との連携が強まる	3	1.0%	5	0.8%
その他	13	4.5%	25	4.2%



その他の回答

児童生徒の広い視野が培われる。
 選択制が実施されても、今までと同じように教育活動が行われると思う。
 やりたい部活動がある学校に行ける。希望する部活動ができる。
 校区境に居住する児童は、通学の安全を考えることができる。近い方を選べる。
 部活動が活性化する。
 学校に行きたくない、友人関係など問題をかかえた生徒の選択する機会が得られる。
 どの学校にも特色があるので、子どものためになったかは結果論でしか分からない。
 環境の変化により学習機会の増える子が存在することは確かであり、職員の関心も多少は増える。
 本校の部活動頑張りたいという生徒にチャンスを与えることができる。
 不適應などの生徒が復帰しようとするチャンスができる。
 人間関係などで問題を抱える生徒にとっては環境が変わるので良い。
 中学校の部活動の選択肢が広がる。

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
学校規模など学校間の格差が広がる	182	62.5%	286	47.8%
地域との関係が希薄になる	216	74.2%	462	77.3%
通学上の安全確保ができなくなるおそれがある	217	74.6%	417	69.7%
教職員の負担が増える	72	24.7%	154	25.8%
小規模校の過小規模化が進むおそれがある	179	61.5%	344	57.5%
生徒指導が広域化し困難になる	155	53.3%	309	51.7%
年度によって児童生徒数が大きく変わるおそれがある	127	43.6%	207	34.6%
その他	23	7.9%	38	6.4%



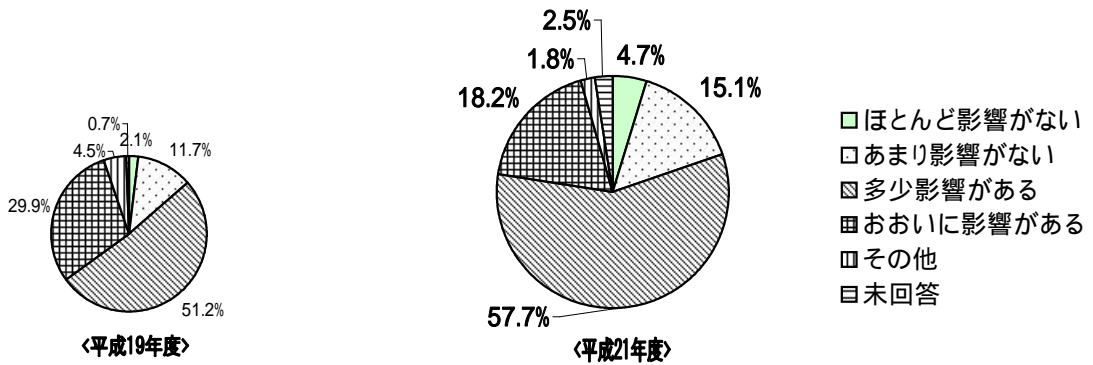
その他の回答

学級数が維持されない恐れがある。中学校は、人数減で部活動の存続が難しい学校が生じる。欠席したとき連絡がしにくい。友だちと帰ってから遊べない。ラジオ体操に参加しにくい。学校のホームページの更新が負担。通学の安全性、地域との連携が希薄になる。小中連携を推進しているが、他の中学校に進むことで、中学校の教員のモチベーションが下がる。抽選で選外になった子どもや保護者の心理的な影響が心配。子ども会の活動ができにくくなる。子ども会に入れない。小学校では現状なら特にデメリットとしてあげるほどの問題点は生じていない。児童生徒の生活実態の把握や、地域連携などができにくい。地域連絡網を使って連絡できない児童が増える。登校班や地区児童会に入れないなどで疎外感を感じたりすることがあるのではないかと。学校を選択できることは、児童生徒、保護者の願いや要望を叶える反面、当人にデメリットもある。定員を決めることは平等ではない。くじ引きで決定することも不平等である。保護者や本人のエゴを認めることになる。子どもの車通学が増え、登下校中に学ぶべき社会性が大きく欠落する恐れがある。選ばれる学校と選ばれない学校が出てくる恐れがある。希望どおりにならない場合があり、選択されない学校の子どもの自尊感情が損なわれる恐れがある。指導の範囲が多校区に広がる。うわさや風評で学校を選ばれる可能性がある。リーダー的な存在の子どもがいなくなる。近所に住んでいても学校が違えば一緒に遊ばないと聞いている。地域の子どもの関係が希薄化する。小中一貫教育との整合性が取れない。友だちで選ぶ時など、人間関係への影響。仲間づくりが苦手な子どもにとっては、苦しいことにもなりかねない。他校に通う生徒が、自分の住む地域の活動に参加しなくなる。抽選で選外になり、不正な手段で校区を移す家庭が増えるのではないかと。登校などの安全性が心配。保護者の精神的負担等が増え、子どものマイナス面の変容が見られる可能性がある。家庭訪問や生徒指導上の訪問が厳しくなった。居住地での地域との繋がりはできるのか。部活動に片寄りができる。一部の部活動に集中する。生徒の登下校にかかる時間が本人の負担となる。義務教育の意味を再認識する意味でも選択制はいかがなものか。教育活動に歪んだ考え方もつ保護者の考え方が押し切られる可能性が高まる。選択されない学校は、ますます荒廃する。裕福な家庭の選択制になる。

質問5 隣接校選択制は、地域の教育活動に大きな影響を及ぼすと思われますか。

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
ほとんど影響がない	6	2.1%	28	4.7%
あまり影響がない	34	11.7%	90	15.1%
多少影響がある	149	51.2%	345	57.7%
おおいに影響がある	87	29.9%	109	18.2%
その他	13	4.5%	11	1.8%
未回答	2	0.7%	15	2.5%
合 計	291	100.0%	598	100.0%

(回答者数:598人)



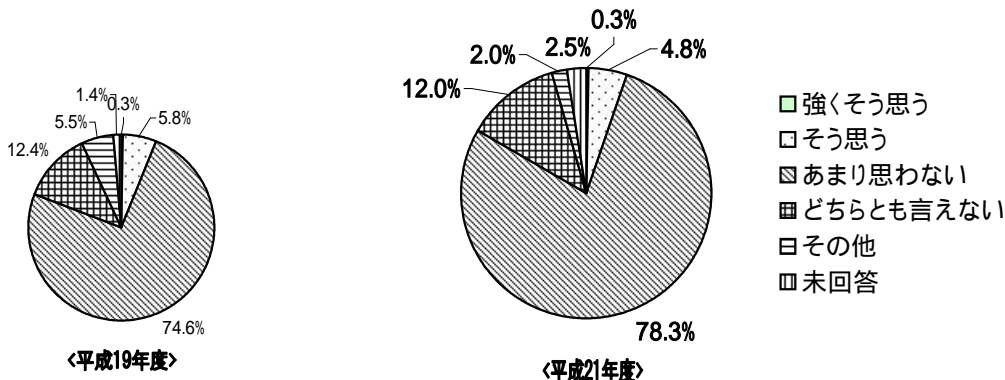
その他の回答

地区子ども会に参加しない子ができて、地域としてのまとまりが薄れる可能性がある。
 地域の協力を求める活動に支障がある。
 人数も少なく、今までの学区外就学の制度で十分という意味でも。
 子どもが地域の中で孤立し、地域に対する愛着がなくなるのではないか。
 学区外の児童が地区子ども会のどこに参加するかは、学校としても毎年課題となる。
 地域の結束力が損なわれることが心配される。
 今はあまり影響がないが、人数が増えればデメリットが増え、学校運営上支障をきたすことが予想される。
 自分が住んでいる地域ではないため、ボランティアへの参加意欲が低下することなどが考えられる。
 地域を意識したこれまでのような古き良き時代の日本の教育スタイルの復活は無理なのではないか。
 自治会の予算を他の居住地からの生徒に使うことを心配することが予想される。
 選択する人数によると思う。
 地域によっては影響が大きくなると思う。
 定員があまり大きくなければ、あまり影響がないと思う。
 今は人数が少ないのでほとんど影響が無い。

質問6 隣接校選択制により、学校と保護者の理解・協力が強くなると思われますか。

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
強く思う	1	0.3%	2	0.3%
そう思う	17	5.8%	29	4.8%
あまり思わない	217	74.6%	468	78.3%
どちらとも言えない	36	12.4%	72	12.0%
その他	16	5.5%	12	2.0%
未回答	4	1.4%	15	2.5%
合 計	291	100.0%	598	100.0%

(回答者数: 598人)



その他の回答

地域のPTAに参加しないため、地域の協力が薄くなり、学校依存が強くなる。
 現状では顕著な変化は見られない。
 まったく思わない。
 転入する保護者の転入理由により協力が差が出てくる。
 子ども会の組織は弱くなっている。
 取り立てて保護者の理解・協力が強くなっているようには思えない。
 選択時は関心があるかも知れないが、その後どの程度動いてくれるかが未知数。
 地域性によると思う。
 関心は高まると思いますが、理解・協力とは少し違うと思う。
 隣接校に行った保護者がその地域と関わっていくことはとても大変だと思う。
 強くなる可能性はある。
 強くなる所もあれば、困難になる所もあり、格差が広がると思う。

質問7 制度充実のために必要だと思うことはなんですか。

各学校の適正数は尊重することが基本。
 安全面を考慮一番近い学校への入学を認める。選択制は、通学の利便性のみを条件とすべきだと思う。
 保護者の選択理由を明確にしていくこと。保護者にこの制度をきちんと理解してもらうこと。
 生徒指導や特別支援教育の面での配慮から、新1年生だけでなく他学年でも見直しがあるとよい。
 地区がはっきりしないために子ども会等の運営がしにくくなる。近くの地域に入る等のルールが必要。
 通学の安全確保、距離要件のみにする。遠距離通学に伴う児童の安全確保。
 放課後遊ぶ友だちがいらないなど、希望して入学した後も柔軟に対応する必要もでてくると思う。
 教職員の制度に対する理解を深める。十分な説明。
 保護者、児童のニーズを把握し、現状の課題を整理し、改善が必要であれば改善していくことが必要。
 選んだ学校を地元の学校であるとして協力する保護者の意識。
 保護者・地域・教職員の十分な理解と協力が必要。
 啓発活動を充実させ、制度について県民に深い理解をいただくことが必要。
 選択を希望した保護者の理解と協力。特に帰宅後の地区児童との交流、登下校での安全面など。
 選択制を利用した保護者への検証等を分析しなと、学校教育現場では把握しにくいと思う。
 子ども会などにきちんと入り、学校は違って地域で育てるようにする。
 選択した学校区の行事・活動等への参加・協力。
 制度利用者が増加しないのは、学校の特色が一般に理解されていない。思いきった施策が必要。
 デメリットの説明、デメリットの解決に向けた手立てが必要。
 校区が違って子ども会に入会できるようにする。居住地の子ども会に参加できるようにする。
 特に大きな変化は見られない。市全体としてどういう長所・短所が生まれてきているのかの研修。
 制度をよく知ってもらうために保護者への広報を行う。制度についてもっと周知徹底をする。
 施設の充実や人員の確保など制度を進めるにあたって考えてほしい。
 交通網の整備、情報発信。通学手段の確保。
 保護者の都合ではなく、子どもの立場に立って制度を利用してほしい。

通学については保護者の責任のもとに行うことを入学前に保護者が受け止める場が必要だと思う。保護者と学校との連携、また、相互理解を可能にするための情報の共有。

弟・妹が隣接校を選択した場合は、兄・姉も学区外就学の許可があれば、保護者の負担が軽減する。学校の情報が地域の方に正しく伝わること。手続きが複雑でないこと。

制度だけが先走りしているように感じる。学校がスムーズに対応できるよう、基盤作りが必要。隣接校区から安全に通えるシステム作り、地域と関わり子育てをしようとする保護者の意識の向上。学区外の子どもに対する様々な問題に対処する人員の確保。

地域住民の声に耳を傾けて進めること。

学校の特色(学力、体験活動、スポーツ)等を周知すること。

地域との連携。学校と地域連携の充実の工夫。

隣接校に行ける条件をよく吟味する。本当に本人にとって必要な制度であるか。

風評等に惑わされた選択とならないよう、制度の検証と保護者等への説明を継続していく。

希望者全員による抽選ではなく、通学距離や事情のある人のみ対応する制度にした方が良い。

希望者の定員枠は今後も慎重に進めてもらいたい。

給食費の徴収の方法を再考する必要がある。

定員制の導入など、学校規模の平均化を図る制度。

学校間格差をなくすための手立てがいろいろあるのではないかと。

市民への理解と周知の方法に工夫がある。広報活動を充実し、学校公開日等の参加を増やす。

それぞれの学校が特色をより明確にすること。

学区外の児童が増えた場合、地域の行事に参加を呼びかける必要がある。

各学校の定員を基本に、新入生を対象に見学会や学校紹介をきちんとすること。

学校情報公開の充実。学校の説明責任。

メリット、デメリットを様々な角度から保護者に知らせ、判断してもらうこと。

試行期間の児童・地域の様子、関係の追調査及び考察の報告。

選択したものの無理が生じた場合などに、本来の学校に戻ることができるシステム。

インターネットを見る機会がない人もいるので、共通の掲示板等、常時見られるコーナーがあるとよい。

隣接校選択制を利用したい理由を明確にしていく。学校を選択する理由を明確にする。

何のためにこの制度が作られたか、意図するものは何か、もう少し明らかにしてほしい。

誰でも選べる「バウチャー制度」などに向かわないようにしてほしい。

本人の希望なので、自転車通学等の配慮は必要ないのではないかと。家庭訪問が広域化し、負担増。制度に関わるルールの徹底。選択のための条件を明確に示す必要がある。

成果と課題の整理

仕組みを理解できていない人も多いと思う。手続きの流れも含め、研修する必要がある。

通学の利便性や安全性を確保することを最優先にすべき。特認校制度でも良いと思う。

メリット、デメリットを保護者にしっかり啓蒙する。

特色ある学校づくり、学校の特色づくり。各校が特色を出す。

校区の見直し。通学区域制度を厳正化する必要がある。

学校間の格差で生徒に不利益を与えないよう、教職員数の確保などを確実にしてほしい。

教職員の負担に頼ってばかりの現場運営を改革する手立てを研究、実施してほしい。

教員、保護者、生徒への理解

どうしてその学校を選んできたのかを職員が把握すること。

保護者が何を求めて制度を利用しているのかを提示してもらう。

隣接校を選択する生徒、保護者については、面談をし、目的をしっかりと確認する必要があると思う。

教員と地域の連携。

学校施設の充実、教職員数等の条件整備。

地域の子どもは地域で育てるべきである。地域から不満の声をよく耳にする。

生徒の目的意識。

地域の行事には極力参加する心がけを持つこと。

学校の教育課程を広く地域へ知らせる。

幼稚園教育の徹底。

小中学校教師、保護者への分かりやすいパンフレット。

制度実施を知っている家庭は多いと思うが、手続きや手立てを家庭に知らせる。

学校間の格差の是正。

希望者が定員を上回った場合、抽選に等に不正がないように。

どの学校にも安心して通うことができ、生徒の力を伸ばしてやれるような条件整備をしてほしい。

一部に集中したり、地域によって小規模校ができたり、片寄りができると思う。

広報誌等を利用して制度の理解・呼びかけを図る。学校は魅力ある学校を創出する。

現状のままでもよく、拡充の必要はない。

現状の検証、教育現場の十分な意見の把握と検討。

各家庭の教育力。保護者への指導が必要である。

各学校や地域の特色があり、その上で選択することが大切ではないかと。

地域の教育活動やPTA活動には積極的に参加すること。

何をめざした選択制とするのかを保護者、教職員も十分に把握し、理解すること。

学校の取組を広く知らせると同時に、開かれた学校づくりを推進する。

隣接校という範囲を拡大することのないようにしてほしい。

学区外就学との違いを明確にしてほしい。

保護者の教育活動に対する正しい理解。

学校の評判に左右されないこと。通学路の安全確保をする。

定員の弾力的運用。

自らの意思で選択を行うのであるから、問題は保護者の自己責任という原則を明示してほしい。

最終決定の時期をもっと早める必要があるのではないか。
過小規模化の防止と対策。
地域の実情、実態調査。
学校の特色を高めるために、推進教員の勤務年数を長くしたり、推進委員会を設置したりする。
十分な説明をしてほしい。
学区外通学の場合の保護者協力。
保護者、生徒の意見をはっきりするとともに、隣接校の見学をしっかりとらう。
入学時の生徒の様子がきちんと中学校に伝わること。
基本的には校区を優先すべきだと思う。
予算を組む。
当該生徒・保護者の意識の追跡調査。
拡大させないことが充実に繋がると思います。定員が増えると混乱する恐れがある。
学校間の連絡。
隣接校に行く家庭が、PTAなどの活動に協力することが必要。子どもが行けば知らないでは困る。
定員枠をきちんとすべきではないか。
制度を実施する必要性の理解。
根拠の無い風評などで選択されることのないようにしてほしい。具体的な方策については分からない。
決定時の意思確認、教員の共通理解、地域連携など。

* ご意見・ご要望

同じマンションに住む子どもでも別の学校に行っていて、近くで遊ぶ子がいないという現状がある。
単学級はクラス替えがないからと敬遠され、結局、負担増、小規模化が進んでいる。
選択制は保護者の意識の問題。地域の中で子どもを育てることが大切と思う。制度の検討を。
地域としての活動がしにくい。結局、行きたい学校という選び方になる。
廃止の方向で検討願いたい。手続きの時間等に対して効果が少ない。学区外就学の手続きで十分。
地区子ども会の所属が難しい児童が生じている。何か方法を考えてほしい。
子ども会の活動の際、連絡や相談ができにくい実態がある。その対策を事前に知らせておく必要がある。
学校を選ぶことができるのは理想的だが、学校の小規模化や風評批評など問題点が多い。
学校間格差が生じないようにすること。学校の活性化を望むのは無理ではないか。
通学、家庭の事情、子どもの状況等、本当に必要な場合のみに限定する方がよい。
下校の際、一緒に帰る子どもがいないので一人で帰ることになる。
選択制を本気でするのであれば、定員を設けず、全市すべての学校を自由に選べる制度にするべき。
以前の制度でも問題はなかったと思う。現状の制度で十分対応できる。
小中連携の取組の中で育った6年生にとって隣接校選択制との接点が難しいところがある。
「通学の利便性を図る」ことを主とした目的とすることでよいと思う。
地域の子ども全員が地域の学校に入学したら学級増になる場合がある。中学校との連携の面でもよい。
小中連携、地域と学校との連携の視点から、必要性を感じない。
この制度を継続していくにつれ、子ども会や地域行事等の結びつきが薄くなるのではないかと思う。
保護者や地域住民はこの制度を望んでいるとは思えない。手間を考えるとデメリットの方が多い。
地域に愛着を持たない子が増え、地域行事も成り立たなくなる。子ども自身が将来寂しい思いをする。
自由に学校を選ぶとなると教職員の負担がますます大きくなる。子ども同士のつながりも希薄になる。
学校運営上のメリット、デメリットを実感できていないのが現状。
一つの学校に集中すると学校間格差が生まれるので、どの学校も同じように環境を整えてほしい。
地域の学校を嫌がる子が増えることが良いとは思えない。
慣れた友だちと一緒に入学したいという理由で、幼稚園のない学校を選んでくれない家庭がある。
学区外就学許可の児童が増えており、隣接校選択制で入学する場合の違いがはっきりしない。
制度を利用して入学した保護者の方の意見等を聞かせてほしい。
学校間の学力格差、教員の充実などが影響する。人員配置の充実を各校にお願いしたい。
1校 名と定員を制限することは趣旨に反すると思われる。
隣接校選択制の趣旨は、これまでの学区外就学許可の要件を拡大することで補えるのではないか。
地域の子ども会活動などへの参加率が悪くなるのではないか。
通学路の安全や帰宅後の行動の把握がしづらくなると思う。
全員ではなく、隣接校の方が近いなど、従来の特別な理由でのような制度改革が行われればよい。
隣接校区のままであれば、安全面や地域の子ども会の活動などが保障されると思う。
家庭の事情で学区外就学を認める制度を広げるとは賛成だが、この制度には反対。
うわさや友人関係など学校と関係ない所で決定することがあり、選択制に意味があるとは思わない。
子ども会、登校班と教職員がつなぎ役となり、立場上間に立つのは難しい面もあった。
学校事務のスリム化のために廃止すべき。全国的にもあまり導入されていない。
抽選で選外になった子どもや保護者の気持ちやその後の動きを見ると残念な動きをしている。

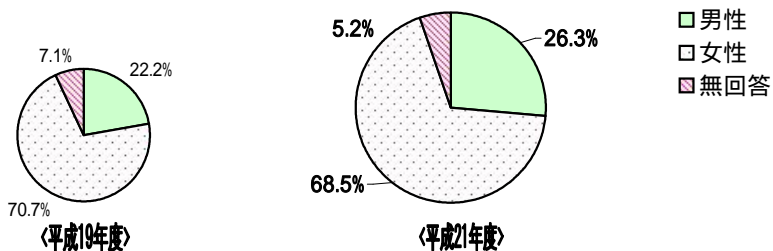
この制度の導入により、小規模校の過小規模化がすでに進んでいる感を受ける。
周囲の状況を見て、隣接校に行かされる状況に追い込む様になっているのではないかと。
特殊事情の子どもを優先し、原則として地域の学校に通う方が望ましい。
従来の方法に「安全」「部活」といった点を含めれば、わざわざ制度にする必要はない。
地域的事情の廃止は、十分理解を得ながら行ってほしい。
地域の子どもは地域で育てる方がよいと思う。学校と地域との連携も強まる。
1年生だけでなく、2～5年生も選択できるようにしてほしい。
現行の定員枠設定には賛成だが、数の幅を広げてほしい。
地域との連携に逆行するこの制度を廃止してほしい。地域を知らない児童生徒が増える。
学校と地域、保護者の関係が薄くなるのが考えられるため、その点を考慮した方法の検討を。
小規模校がさらに小さくなる可能性がある。早く廃止してほしい。
教職員数にゆとりがなくなり、学校現場が忙しくなる。
子どもは居住地の学校で、地域の子どもと成長していけばいいと思う。
成果があまりあがらないようならば見直しをするべきと思う。
地域の人たちの校区の子は校区で育てるといふ意気込みが、他校区の児童にまで広げられるか。
費用対効果の検証が必要。
一緒に帰る子どもがいないので、寂しそうだ。
就学時健診は、選択した学校で受けるようにしないと対応が遅れ入学してから困る事が多々ある。
選択制をPTA活動から逃げるために使う保護者もみられる。
生徒指導上、学校の動きがスピーディーでなくなる。
特別な理由があれば、必ずしも隣接校というわけにもいなくなると思う。
選択制や県立・私立中への進学で、リーダー的な生徒が少なくなる中学校は、学力向上などが困難に。
選択する保護者は、子ども会行事など、地域の基盤となる所が見えないまま選択するのが問題と思う。
地域の教育力がこれまで以上に下がる可能性が大いと思う。
行きたい学校に実際に行ってみたが、もとに戻りたいというなど、学校現場が混乱しそう。
すでに大規模化している学校は対象から除外すべきである。
違う学校に通っているために遊べない子どもがいる。心の安定を図っていかなくてはならない。
一部の意見を取り上げるのではなく、地域住民の意見を尊重してほしい。
学校施設、職員の補償や拡充を図ってほしい。
中学校の場合、偏見や先入観によって避けたい学校という選択理由が優先する懸念がある。
子どもが減少している地域にとって、学校が存続できるか不安を感じている住民が多いようだ。
家庭との連携が必要な幼少期に親の様子が分からないでは指導が困難。選択制には反対。
部活動のために不正な行為をする保護者がいる。何のための制度かを保護者に理解してもらいたい。
学区外就学も許可しているので、今の程度でよいと思う。
兄弟姉妹が入学した場合、次の子どもは一緒に学校に入学できる方がよい。
学校の評判に左右される。保護者が学校の情報や教育方針を本当に理解しているとは思えない。
通学に便利な学校に通うことが一番よいと思う。
制度によって一定の効果があると思うが、積極的に展開することには疑問を感じる。
部活動を基準とした場合、教員の異動が影響する。生徒には強い意志で3年間通学してほしい。
この制度でどのくらいプラスになっているのか知りたい。希望校に入れなかった子どもの様子も知りたい。
校区境の子どもはこれまで同じ学校に行っていたのに、バラバラになり地域との繋がりが薄くなっている。
近い学校に行けないという意見には、通学区の見直しや、特認校などで対応すればよい。
地域力が崩れるのでやめてほしい。地域の子どもは地域で育てる以前の方が良い。
教職員の数を大幅に増加させてほしい。
現場職員の働く環境も視点としてほしい。
選択して来て、生徒指導上問題を起こす生徒がいる。場合によっては指定校に戻すなど制度化する。
生徒、保護者が何を求めその学校に通学するかを調査し、記録する。それを学校が知ることが大切。
小中一貫教育の推進と隣接校選択制は共存できるのか。
希望が通る人と通らない人で問題が起きそうである。
地域との関係が薄くなる可能性があるため、こまめに情報交換が必要だと思う。
長期欠席者の解消は優先的にすべきである。
地区の子ども会の運営が困難になる。地域で守り育てることが困難になるのではないかと。
通学距離が近いという人は認めるが、学校の評判などで隣接校へというのはいかなるものかと思う。
家庭訪問に行くと「あっちの方が近かった」という話を聞く。そういった方が使える制度であるべき。
通学区に拘らず、柔軟な対応ができればよい。
学校間競争が生じ、地域、保護者が人事に口を出すようになることを心配する。
部活動で選択する生徒が多い状況を見ると、社会体育の充実を考えるべきである。
隣接校選択制の意義がよく見えない。
いじめ等、特殊な状況以外では認めない方向が良いと思う。
大分市以外で勤務していたので、隣接校選択制のメリット、デメリットがよく分からない。
抽選で外れても学区外就学が認められるケースがある。隣接校選択制が無くても同じことではないか。
学校間格差の心配があるが、いじめ、不登校など、生徒指導上では良い面も期待される。
特別な事情があり、指定校より隣接校を選びたい家庭が安心して選べるのは良いと思う。
12月～3月に生徒数把握に時間がかかるため、きめ細かな学校への情報提供をお願いしたい。

隣接校選択制の陰で、生徒が減少している学校もあることを知ってほしい。
地域コミュニティーを再構築して、地域と保護者、学校を巻き込んだ取組が必要。制度の見直しも必要。
小規模校では部活動などの充実が難しく、不利な面も出てくる。
3年サイクルぐらいで見直しをしてほしい。
年度によって生徒数に変化があり、期日を早目にしてほしい。
家庭の状況が多岐に渡るので一概に反対とは言えないが、とても良い制度とは思わない。
学校教育が円滑に行えるよう行政がサポートをしっかりとしてほしい。
教職員の意識改革。
部活動による選択が多いと思っているが、本来は地域との繋がりが大切と考える。
新しい制度を取り入れるのは良いが、教員へのフォローが必要。教員への負担が増える一方。
地域に根ざした教育ができなくなりそうで不安。
制度そのものを見直した方が良いと思う。
私立中学校も増え、選択肢は多くなっていると思う。せめて公立中学校は、地域に根ざした教育を。
メリット、デメリットをよく考え、公開し、理解を得たうえで行ってほしい。
行政がもっと評価を広報すべき。
地域との関係が希薄になるのではというのが心配である。
学校間格差が広がり、ますます生徒指導が難しくなる。
隣接校選択制と学区外就学の扱いが複雑になる。
地区生徒会などの活動がやりにくくなった。地域連携が薄れ、個人主義になってくると思う。
部活動で希望する場合、多数の生徒が集まると練習の機会が失われるので、情報提供することが大事。
義務教育の段階では、居住区の学校に通うという規制があってもよいのではないかと。
何らかの事情がある場合のみでいいのではないかと。
隣接校にこだわらず、市内どこでも選択できるようにしたらよいと思います。
部活動を調整し、全市一区で選択制とし、教員の人事も部活動も考慮したものにする。
特例として認める程度で良いのではないかと。
拡大しない方がよい。選択制はプラスかもしれないが、子どもと地域との繋がりが薄くなる。
登下校の安全を考えたら、中学生までは地域で、安全に安心した生活をさせたい。
さらに格差が広がり、大変な時代が来ると思う。
このまま続けていくのは不安が残る。
年度によって生徒数が大きく変わる恐れがあり、今後の取組にも影響が大きく地域連携も希薄化する。
良い面もあるが、定員が変更になり、人気のある学校と無い学校の二分化が心配。
学校の情報をもっと公開し、広範囲の人々にその学校の特色を知ってもらうようにする。

平成21年度 隣接校選択制アンケート 《地域住民》

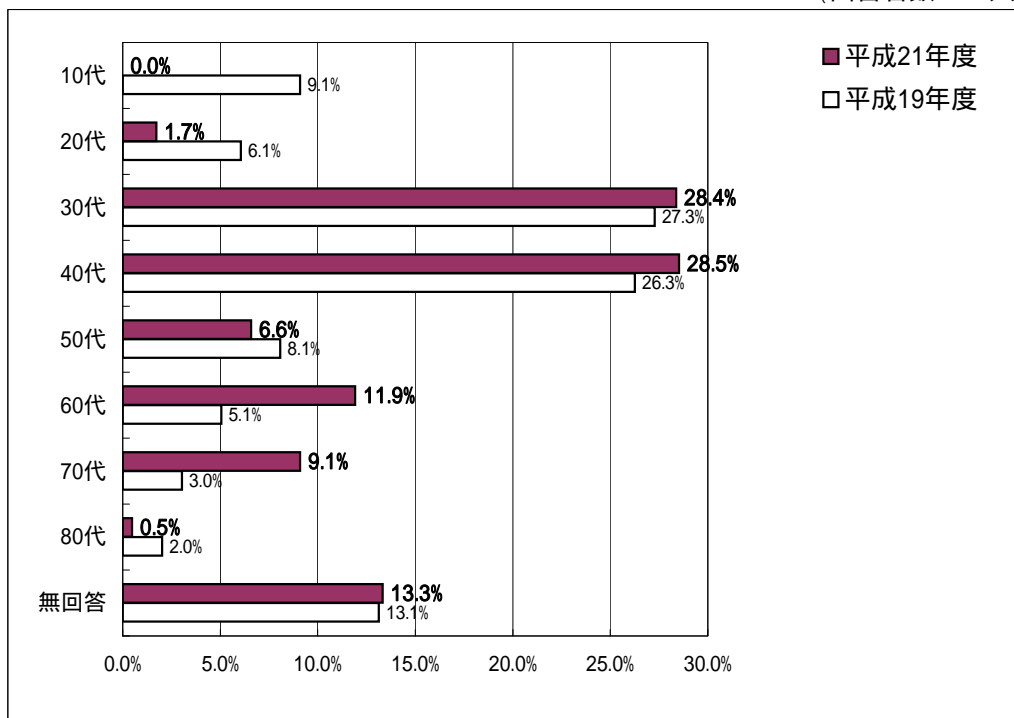
回答者の性別

(回答者数:638人)



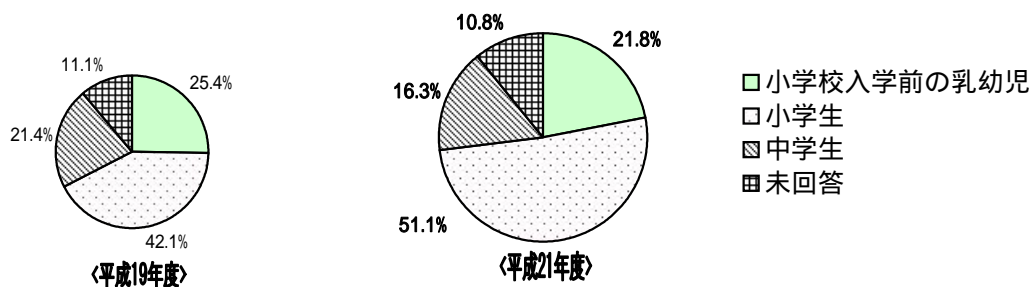
回答者の年代

(回答者数:638人)



質問1 家族の中に中学生以下のお子さんはいらっしゃいますか。(複数回答可) (回答者数:638人)

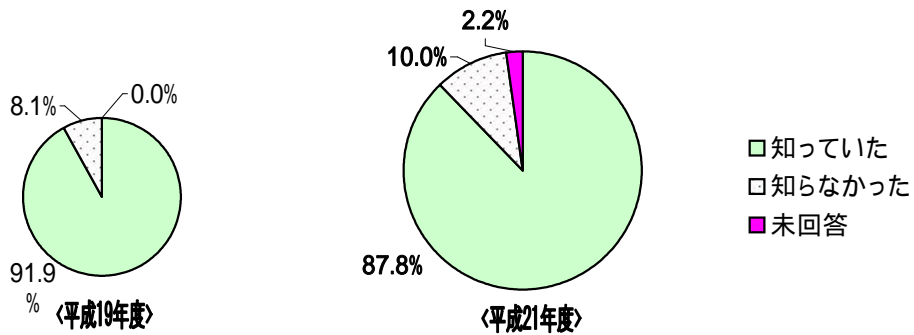
回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
小学校入学前の乳幼児	32	25.4%	168	21.8%
小学生	53	42.1%	393	51.1%
中学生	27	21.4%	125	16.3%
未回答	14	11.1%	83	10.8%



質問2 大分市において、平成21年度より隣接校選択制が全市実施されていることを知っていますか。

(回答者数:638人)

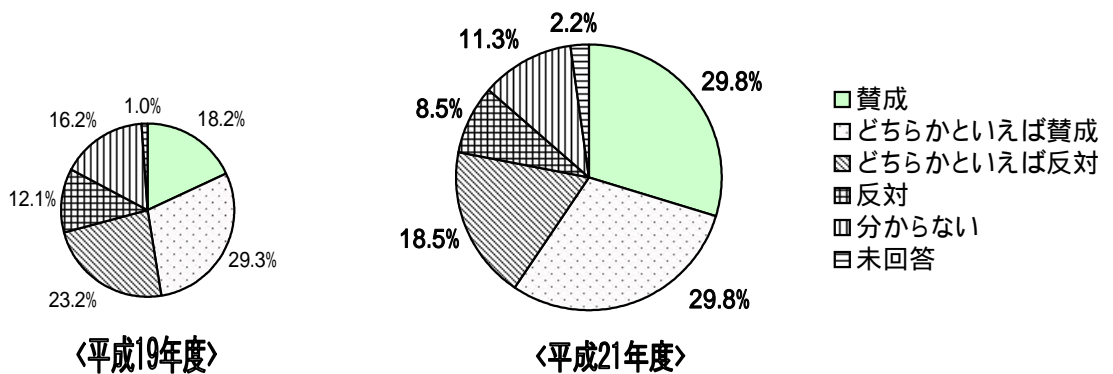
回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
知っていた	91	91.9%	560	87.8%
知らなかった	8	8.1%	64	10.0%
未回答	0	0.0%	14	2.2%
合 計	99	100.0%	638	100.0%



質問3 隣接校選択制の実施に賛成ですか。

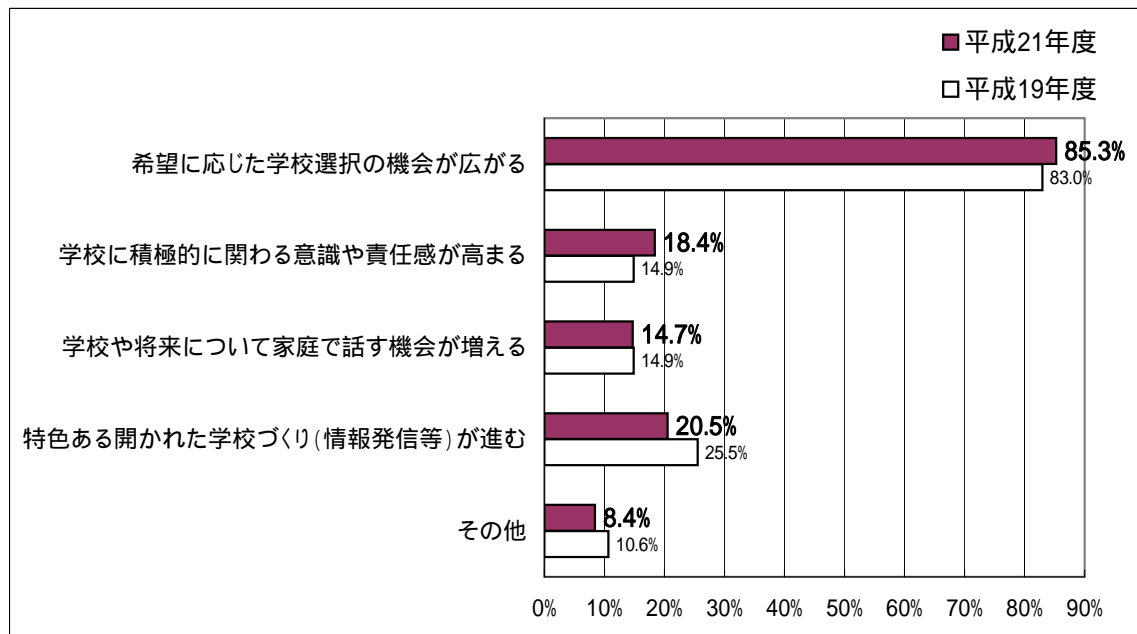
(回答者数:638人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
賛成	18	18.2%	190	29.8%
どちらかといえば賛成	29	29.3%	190	29.8%
どちらかといえば反対	23	23.2%	118	18.5%
反対	12	12.1%	54	8.5%
分からない	16	16.2%	72	11.3%
未回答	1	1.0%	14	2.2%
合 計	99	100.0%	638	100.0%



質問4 【質問3】で ・ を選ばれた方、賛成する理由はなんですか。(複数回答可) (回答者数:380人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
希望に応じた学校選択の機会が広がる	39	83.0%	324	85.3%
学校に積極的に関わる意識や責任感が高まる	7	14.9%	70	18.4%
学校や将来について家庭で話す機会が増える	7	14.9%	56	14.7%
特色ある開かれた学校づくり(情報発信等)が進む	12	25.5%	78	20.5%
その他	5	10.6%	32	8.4%

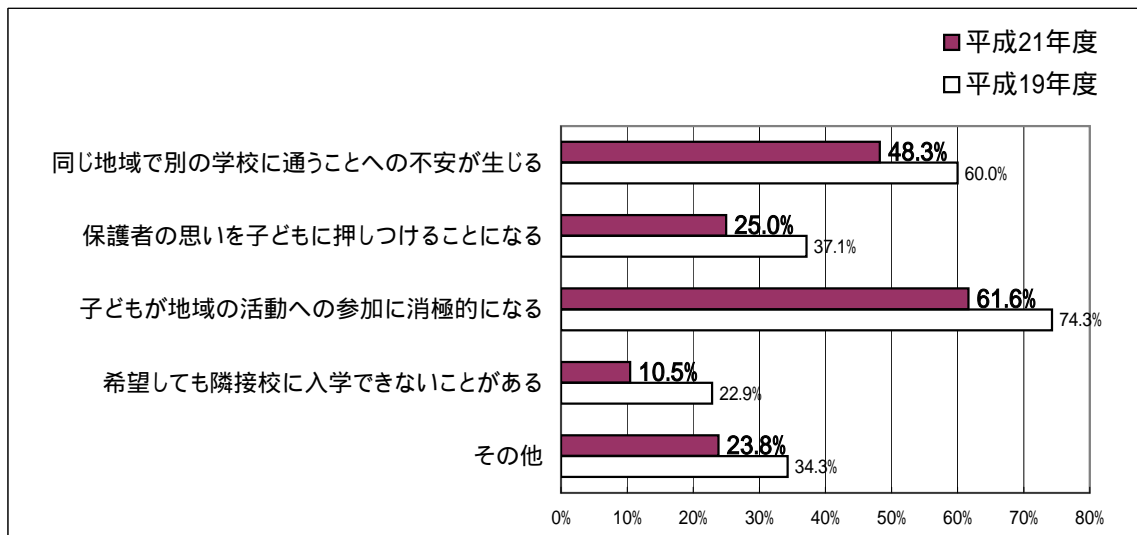


その他の回答

賛成だが人数制限が必要。学校間格差が生じる原因になりかねない。
 距離的なことで選択する方も多いと聞いている。通学の距離は短い方が良い。
 配慮が必要な子どもの学校生活を確保する。
 指定校が遠い場合、近い学校に行ける。安全面でも賛成。
 指定校よりも隣接校の方が近い子どももいるから。境界線付近の子どもにはよい。
 本人自身の意識が向上する。
 自由でよいと思う。
 地域によっては、通学距離が短縮できる。隣接校の方が地理的に近い家もある。
 いじめの回避など、色々な事情がある場合があると思う。
 友達をつくりやすい。
 学校生活に不安をもっている方には選択肢があるのはいいことだと思う。
 児童数の減りつつある学校に、もしかしたら増えるかもしれないという希望が持てる。
 現状では、教育委員会に許可を得るなど面倒である。
 離れた学校より安全面で近くの学校を選んだ方が安心。通学路の安全性が確保できる。
 選択肢を増やすことは良い。
 隣接校の方が自宅から近かったら、そちらに行きたい。
 子どもと何がやりたいのか話す機会が増える。学校のことで会話ができる。
 校区ギリギリの子は、近い方の学校に行ける。自宅に近い学校に通学できる。
 通学の距離、安全性、家から近い学校に行ける。
 登校できない子どものためにも良い。
 個々のニーズが多様化しており、複雑な事情がある人もいるので、選択できることは良い。
 指定校にやりたい部活動がない場合など、やりたい部活動のある学校を選ぶことができる。
 先生方に「選ばれている」という気持ちが生まれることを期待する。
 各家庭の教育方針に近い学校へ入学できる機会が増えるから、学力向上にも繋がると思う。
 荒れた学校を回避できる。
 自営業なので助かる。

質問5 【質問3】で ・ を選ばれた方、反対する理由はなんですか。(複数回答可) (回答者数:172人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
同じ地域で別の学校に通うことへの不安が生じる	21	60.0%	83	48.3%
保護者の思いを子どもに押しつけることになる	13	37.1%	43	25.0%
子どもが地域の活動への参加に消極的になる	26	74.3%	106	61.6%
希望しても隣接校に入学できないことがある	8	22.9%	18	10.5%
その他	12	34.3%	41	23.8%



その他の回答

子どもは、家庭、学校、地域が一体となって育てるという教育の基本を逸脱していると思う。人数が片寄るのではないかと思う。小規模校は益々小規模校になる。

子ども会の楽しい行事に参加できない。

地域活動の衰退や人数の片寄りが生じ、廃校となる地域が出る可能性が大である。

地域に対する愛着が薄れる。地域づくり、ふるさとづくりの面からおかしい。

交通事故等が心配。パトロール等子どもたちの安全面での不安がある。

地域の学校で近所の友人と遊ぶということがいい。同世代の近所の子どもと交流が少なくなる。

わざわざ別の学校へ行く必要はないと思う。

地域子ども会と離別し、家族中心になる。

中学校ですでに地域から離れる。小学校からとなると地域で子育ては無理。今でも難しい。本当に必要な人は良いと思うが、希望で誰でもよいとなると、あまりよくない。

地区民としての連携が壊れる。地域との結びつきが薄くなる。

地域の子どもは地域の住民が育て、地域で育てほしい。地域での子育てが難しくなる。

人数の少ない学校に通い、その生活に慣れているのに、違う学校で子どもが耐えられるか心配。

子どもの安全面などの理由ならば、現行の学区外就学の規定で十分。

現在の学区外就学の子ども・保護者は、地域の活動、子ども会活動に協力的ではない。

子どもは親を選んで生まれないと同じ。

教育の格差がもっと大きく広がる恐れがある。

生まれた地域に愛着を持つという様な心はどうやって育てられるのか。

中学校までは偏りのない義務教育を地域でしてほしい。

登下校の安全面が不安。子どもは地域で育てることが大切だと思う。

評判の良い学校への集中に繋がり、希望の少ない学校は生徒数が減少し、より悪循環となる。

子どもたちに選択する能力が不十分。

親の都合で子どもの意志に反し、大事な時期に心的な負担を重くすることには反対。

地域内での児童生徒や保護者の連帯感が薄くなる。

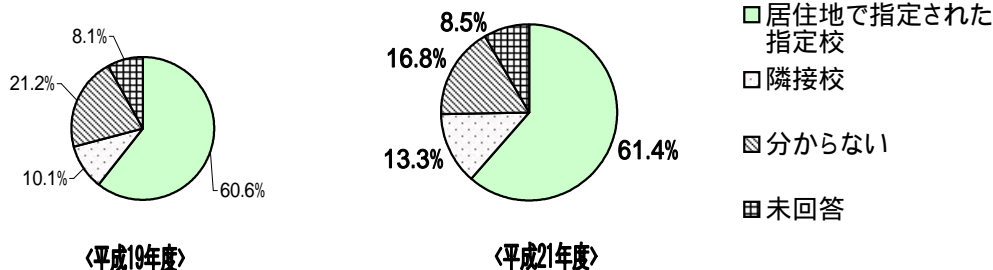
学校の活性化は、学校と保護者が中心に進められるべきであって、競争させるべきではない。

部活動などが一校に集中したら、力の配分や人数配分ができなくなる。

人との繋がりがおかしくなると思う。

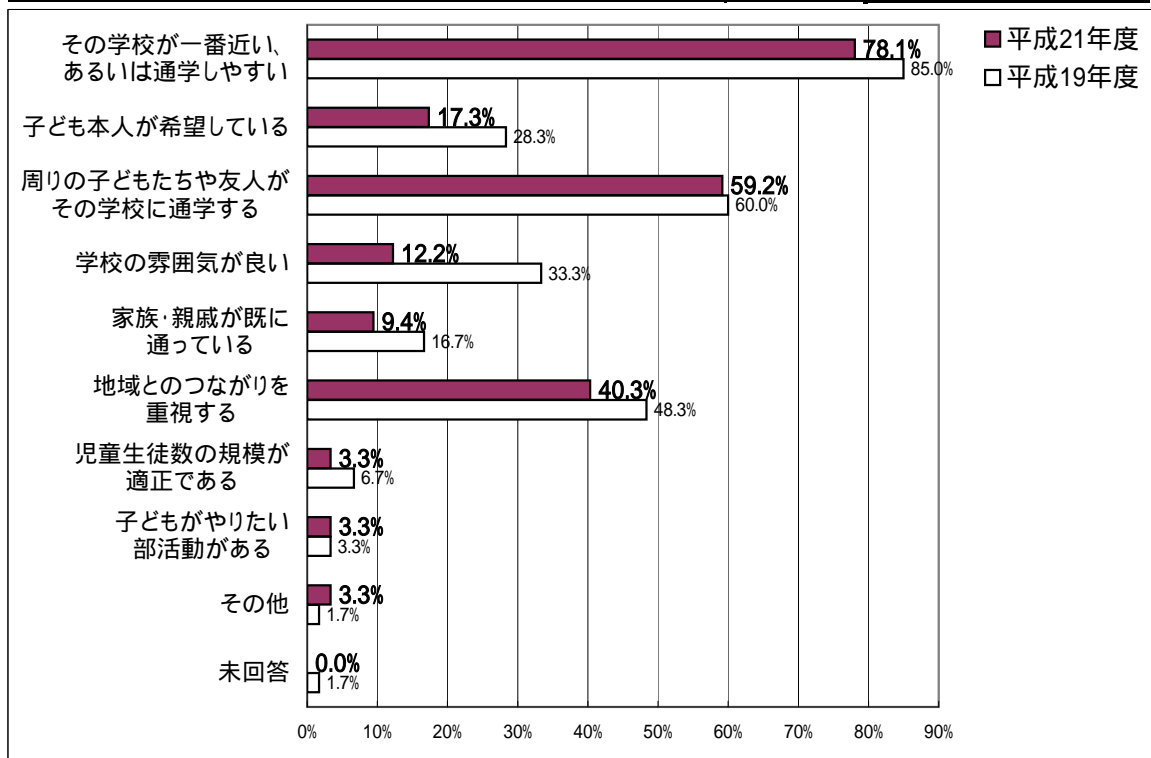
質問6 入学する学校が選択できたら、どの学校を選びますか。 (回答者数:638人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
居住地で指定された指定校	60	60.6%	392	61.4%
隣接校	10	10.1%	85	13.3%
分からない	21	21.2%	107	16.8%
未回答	8	8.1%	54	8.5%
合 計	99	100.0%	638	100.0%



質問7 【質問6】で選ばれた方、理由はなんですか。(複数回答可) (回答者数:392人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
その学校が一番近い、あるいは通学しやすい	51	85.0%	306	78.1%
子ども本人が希望している	17	28.3%	68	17.3%
周りの子どもたちや友人がその学校に通学する	36	60.0%	232	59.2%
学校の雰囲気が良い	20	33.3%	48	12.2%
家族・親戚が既に通っている	10	16.7%	37	9.4%
地域とのつながりを重視する	29	48.3%	158	40.3%
児童生徒数の規模が適正である	4	6.7%	13	3.3%
子どもがやりたい部活動がある	2	3.3%	13	3.3%
その他	1	1.7%	13	3.3%
未回答	1	1.7%	0	0.0%



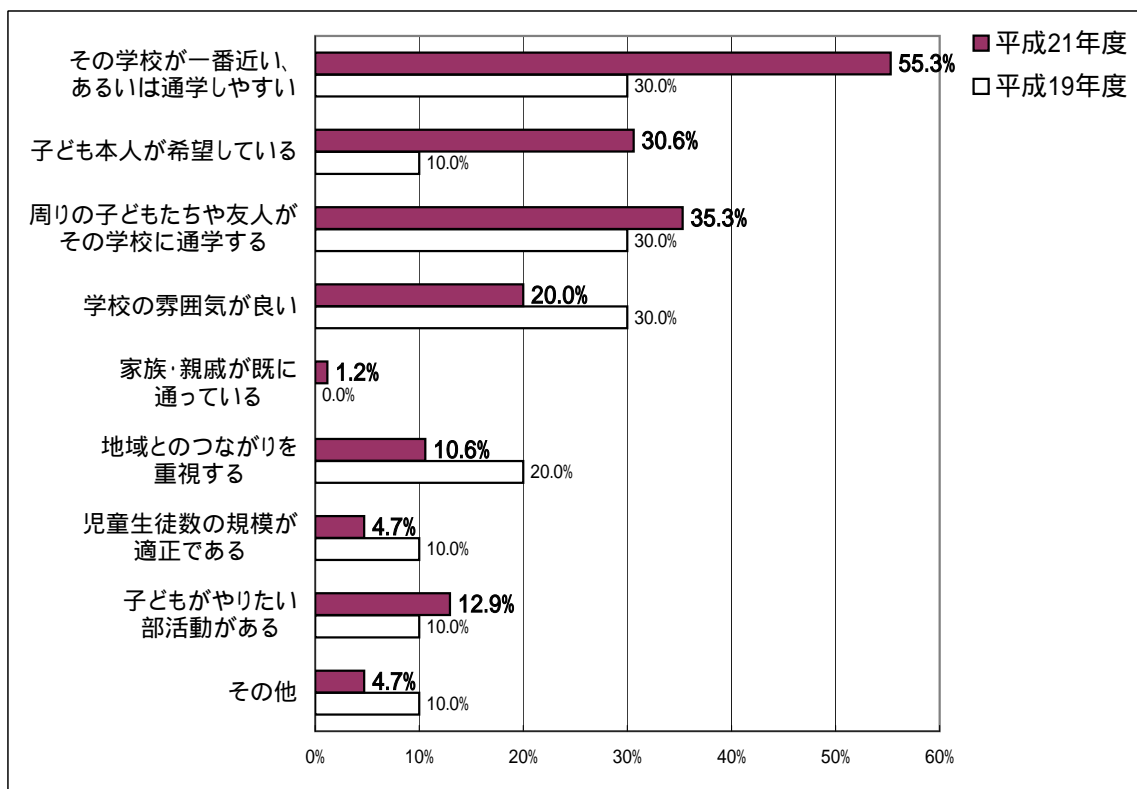
その他の回答

子どもも家族も希望している。
 地域に対する思いを持ってほしい。地域社会を大切に思っている。
 学校のことは調べて分かって、隣接地域をよく知らない。
 朝一人で歩いて学校に行くためには当たり前のこと。
 県外転入なので、狭いエリアの情報だけを鵜呑みにするのも不安が残る。
 同じ地区で違う学校に通うと、地区の子ども会の方たちも困ると思うから。
 地域との繋がりができている。保護者・友だちの繋がりもすでにできている。

質問8 【質問6】で を選ばれた方、理由はなんですか。(複数回答可)

(回答者数:85人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
その学校が一番近い、あるいは通学しやすい	3	30.0%	47	55.3%
子ども本人が希望している	1	10.0%	26	30.6%
周りの子どもたちや友人がその学校に通学する	3	30.0%	30	35.3%
学校の雰囲気が良い	3	30.0%	17	20.0%
家族・親戚が既に通っている	0	0.0%	1	1.2%
地域とのつながりを重視する	2	20.0%	9	10.6%
児童生徒数の規模が適正である	1	10.0%	4	4.7%
子どもがやりたい部活動がある	1	10.0%	11	12.9%
その他	1	10.0%	4	4.7%



その他の回答

近くの幼稚園に行っているから。

子どもが素直である。

オープンスクールで、教育方針、雰囲気等を考えた場合によいと思った。

上の子どもが指定校で部活動をやめた場合、下の子どもが同じ部活動をするのが難しい。

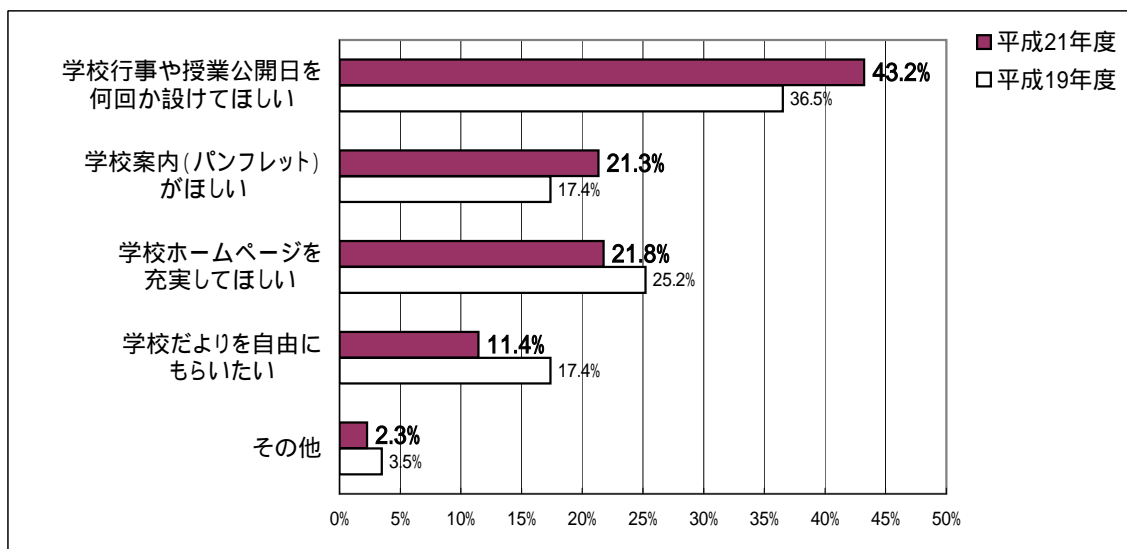
学力指導が良い。

学習やその教育環境、生徒全体の雰囲気が希望にあっている。

質問9 学校を選択するうえで、学校を知るために何が必要ですか。

(回答者数:708人)

回 答	平成19年度		平成21年度	
	件数	比率	件数	比率
学校行事や授業公開日を何回か設けてほしい	42	36.5%	306	43.2%
学校案内(パンフレット)がほしい	20	17.4%	151	21.3%
学校ホームページを充実してほしい	29	25.2%	154	21.8%
学校だよりを自由にもらいたい	20	17.4%	81	11.4%
その他	4	3.5%	16	2.3%



その他の回答

学校ホームページに育成クラブ、社会体育などの情報もほしい。
 人とのコミュニケーション。
 地域住民も一緒に参加できる行事の実施。
 学校案内や行事等を広く公開して周知してほしい。
 先生紹介などがあつたらいいと思う。
 学校自身がプレゼンテーションなどをしないと選びようがない。
 校長以下、先生方の教育理念を知りたい。
 部活動のことを詳しく知りたい。
 学力のこと。
 これまでの実績、部活動での成績等、生徒の特色と学校の方針との現状
 実情を知りたいと思うが、手段が分からない。

*** ご意見・ご要望**

指定校に行きたくないという理由で隣接校を選ぶ状況を作ってほしくない。
 兄弟姉妹は一緒に通えるようにしてほしい。できれば優先してほしい。
 選択制の枠を広げないでほしい。地域の学校が統廃合になったりすると大変。
 選択制を導入しなくても学区外就学で十分対応できる。選択制の実施は、地域のまとまりを阻害する。
 隣接校を選択しても、子どもが地域に参加できる機会があればと思っている。
 実施した意味がわからない。なぜそのような必要があるのか。本当に必要なのか疑問が残る。
 これからは地域の力も活用して子育てをしていく時代。指定校入学が無理がなく良いと思う。
 校区内での地域の繋がりや子ども会活動も考えてもらいたい。抽選はやめてもらいたい。
 精神的、肉体的に登下校に30分以上は負担が大きく、すべてに伸びない。
 車椅子で通学したが、周囲の皆様の方の暖かい思いやりで本人も何も不満がないと言っている。
 地域との関わりが減り、その家族が地域で浮いてしまったりすることも考えられる。
 賛成だが、一部の学校に生徒が片寄るのはよくない。
 指定校の情報はあるが、隣接校オープンスクールの日時をもっとPRしてほしい。
 子どもが歩いて通える距離にある学校に通わせたい。
 成績だけで保護者が学校を選択する。学校も成績を上げることを求めていくという懸念がある。
 隣接ではなく、市内どこでも行けたらいいと思います。自由に選べるのがよい。
 指定校では本人がやりたいことができない場合がある。もう少し自由に選択できるようにしてほしい。
 今年度からの実施ですが、現在の効果がどう出ているのか知りたい。
 それぞれの学校の良さをもっと分かりやすくアピールしてほしい。
 子どもは学校だけでなく放課後の友だちとの関わりも成長に大切。遊びの中での学びが妨げられる。
 子ども会の運営が難しくなる。PTA、青少協との関わりもややこしくなる。
 これ以上拡大しないでほしい。
 どちらかと言えば反対であるが、隣接校の方が明らかに近い場合などは選択制も可と思う。

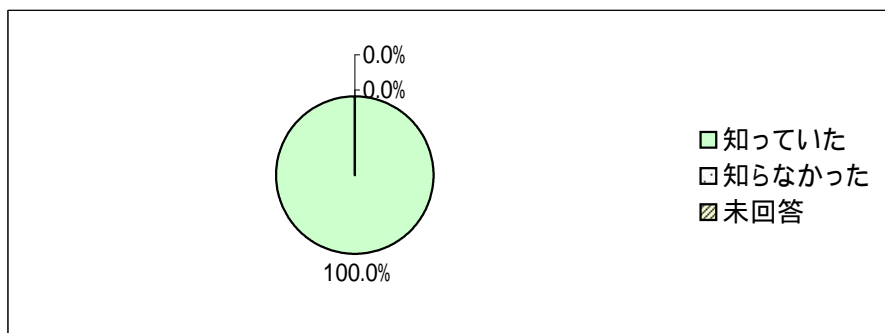
隣接校選択制は良いと思う。
地域の子は地域で育てるという観点から、選択制はおかしい。
小さくても地域の小学校を大切にしてほしい。
親の考え方を押し付けることになることが問題。もう少し子ども中心の考え方をしても良いと思う。
通学しやすい学校が選択できて良いが、子ども会に入りづらいという心配がある。
校区に拘束されるより、メリットが多いのではないのでしょうか。
市報だけの案内だけでなく、選択制ができることを、その家族に伝えてもらえるとうい。
選択の自由で、様々なことが大きく変わると思う。やってみないと分からない点があり、親は不安。
表面的なものだけにとらわれず、保護者自身もうわさに惑わされない目が必要だと思う。
学校、先生、親にも無理のない制度であってほしい。
PTA活動が余りにも大変な学校はこれから人気がなくなると思う。
PTAというものがどうなっていくのか心配。親同士の交流もなくなるのではないかと。
自宅から遠い学校を選択するのは、通学の安全性に欠けている。
自宅からの通学距離が指定校よりかなり近い場所にある場合は、周辺地区の子どもは隣接校でよい。
他校区に行く地域活動に参加していない。子どもが少なくなっており、子ども会の活動もなくなる。
子どもが希望している学校が遠い場合、送迎バスなどがあればよいと思う。
選択制になれば地域がさびれてしまう。子どもの声が聞けなくなると寂しい。
母校意識は生涯にわたっての心の絆となると思う。
現通学区を見直し、学校区・行政区を調整し、学校規模、通学距離など総合的な長期計画が必要である。
隣接校に明らかに遠い学校が入っているのはどうかと思う。
選択するには、育成クラブなどの活動が活発な所が必要と思う。
定員枠が少ないので、もう少し多いといいと思う。
今の学校で満足しているが、中学生になって子どもがやりたい部活がないとかわいそうだと思う。
選択するのは家族や子ども本人だが、それができない子どもはどうなるのか。明確な答えがほしい。
選ばれるということで学校に緊張感が生まれるのならいいと思うが、うわさが先行すると困る。
学校の特色を出すことや、評価ばかりを考えて、間違った方向へ進まないようにしてほしい。
先生方の負担が多くなり、子ども達とふれあう時間が減少してしまうのではないかと。
その家庭が許す限りの範囲の選択が可能となる方が望ましい。
分かりやすい説明やパンフレットがあったらいいと思う。
小規模校を避ける人が出てクラス数が減少し、1クラスの人数が多くなる。指導に影響が出ている。
個人的には従来どおりで良いと思うが、子供がいる場合、子どもの意見を聞いて親子で考えた方がよい。
通学の安全性を重視しての選択ならば良いと思う。
学校に行きにくい等の理由がある場合、選択制はよいが、もう少し検討が必要だったのではないかと。
説明会で反対意見もたくさん出された。本当に子ども、保護者にとって良い方法か疑問。
締め切り後に事情が変わる場合もあると思うので、申請期間は融通を利かせてほしい。
これまでどおりの学区外就学で十分だと思う。学校、子ども、家庭の格差を生むような気がする。
小中学校では、親の協力や参加が大きな力だと思う。選択制だと対応が難しいと思う。
特別な理由がある場合にだけ認めるとした方がよい。
各学校、特色ある学校づくりに力を入れ、大分県のレベルアップを図ってほしい。
説明の時期を早めてほしい。日中にも説明会をしてほしい。
中学校は義務教育の中でも大切な時期。次のステップに向けて大きく成長できる学校を選びたい。
制度が先行し、中味がついていない。
置かれた環境の中で育ってこそ色々な苦しみ楽しみを経験できるもの。選択制は親のエゴ、反対。
立地条件で、隣接校の方が著しく近い場合は、学校選択制があって良いと思う。
指定校に通学するのが一番自然で、保護者も子どもも連帯感や一体感で結ばれる。相互の交流もできる。
選択制が実施されることにより、開かれた学校へと近づくように思う。
居住地の学校も隣接校もみな子どもたちのために頑張っている姿をよく見受ける。
子どもたちのことを考えてほしい。選択しなくてよい。
選択制ができて、交通事情が悪く、選択の余地が無いケースを聞く。スクールバスの検討を。
民間のクラブ等で子どもの特性を伸ばせば良い。

平成21年度 隣接校選択制アンケート 《自治委員》

質問1 大分市において、平成21年度より隣接校選択制が全市実施されていることを知っていますか。

回 答	件数	比率
知っていた	37	100.0%
知らなかった	0	0.0%
未回答	0	0.0%
合 計	37	100.0%

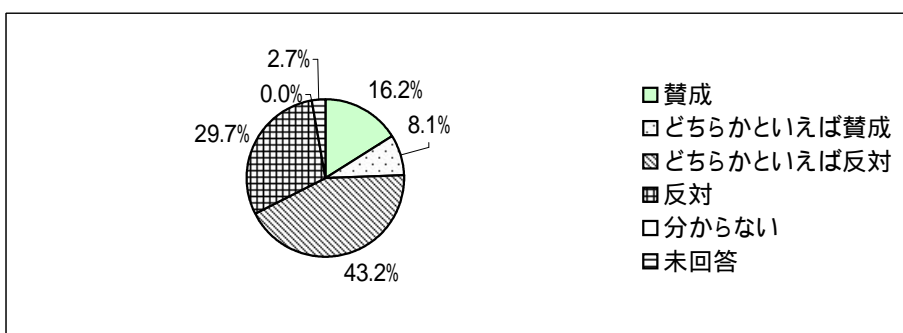
(回答者数:37人)



質問2 隣接校選択制の実施に賛成ですか。

回 答	件数	比率
賛成	6	16.2%
どちらかといえば賛成	3	8.1%
どちらかといえば反対	16	43.2%
反対	11	29.7%
分からない	0	0.0%
未回答	1	2.7%
合 計	37	100.0%

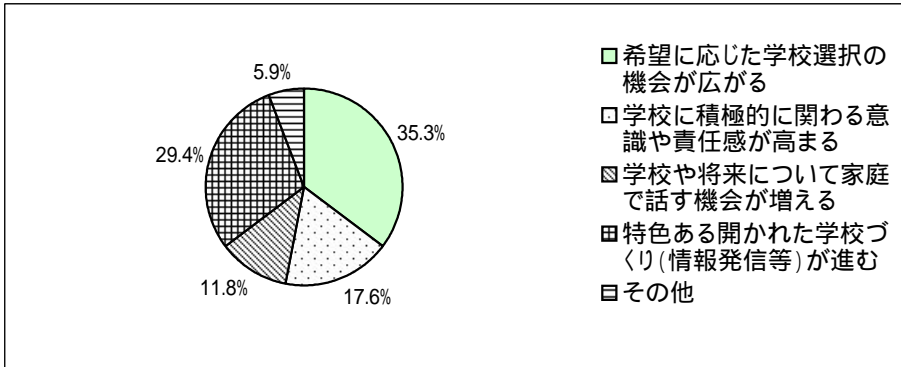
(回答者数:37人)



質問3 質問2で ・ を選ばれた方、賛成する理由はなんですか。(複数回答可)

回 答	件数	比率
希望に応じた学校選択の機会が広がる	6	35.3%
学校に積極的に関わる意識や責任感が高まる	3	17.6%
学校や将来について家庭で話す機会が増える	2	11.8%
特色ある開かれた学校づくり(情報発信等)が進む	5	29.4%
その他	1	5.9%

(回答者数: 9人)



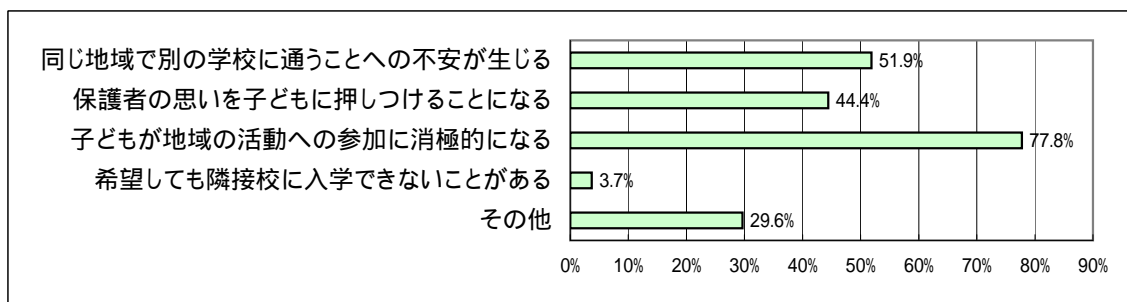
その他の回答

指定校より居住地に近い隣接校に入学できるから賛成。通学距離の短縮に賛成。近距離でも校区の線引きがあれば予め決まった学校へ通学しなければならない事由があったことを聞いたことがあったが、本人又は親権者が希望する学校への入学ができることは喜ばしい。

質問4 質問2で を選ばれた方、反対する理由はなんですか。(複数回答可)

回 答	件数	比率
同じ地域で別の学校に通うことへの不安が生じる	14	51.9%
保護者の思いを子どもに押しつけることになる	12	44.4%
子どもが地域の活動への参加に消極的になる	21	77.8%
希望しても隣接校に入学できないことがある	1	3.7%
その他	8	29.6%

(回答者数:27人)



その他の回答

我々自治委員にも事前に相談してほしかった。教育委員会が決めたものに反対できない。地域を繁栄させるためには、同級生、同窓生の力が必要になってくる。学級編制や過少児童生徒数の問題が生じ、均等性が図れなくなる。地域子ども会活動ができなくなる。「校区の子どもは校区で育てる」のキャッチフレーズのもとで校区をあげて真剣に取り組んでいる時に、どうしてなのか。教育行政の矛盾を感じる。大分市では、昔のように向こう三軒両隣の人たちとコミュニティーを取りながら、地域の子もたちは地域のみんで育てることを合言葉に活動をしている。それに反するような制度である。子どもが少ないため選択しない方がよい。通学の安全性が確保しにくい。学校間格差や過疎校増加の助長に繋がる懸念がある。ふるさと意識が薄らぎ、地域コミュニティが希薄化する。保護者には団地の学校の方が学力が高いとの思いがある。少人数学級編制や教員の複数配置等で学力向上を図る方が先ではないか。30人前後の小規模校であり、これ以上の減少は学校の存続問題に発展しかねない。子どものことを考えるとできれば集団の中で切磋琢磨させたいが……。当地区の一部は従来から他校に通学しているが、成人しても地区に溶け込まない。学区外から通う子どもの登下校パトロールに不安がある。小規模校が休校になるおそれがある。小学校では学校の特徴の有無に疑問を感じる。小学校では同じ地域の子もは同じ学校に入学して生活することが、地域活動を振興する面から必要。

質問5 制度充実のために必要だと思われることは何ですか。

まだまだPR不足。趣旨の徹底が必要。制度は充実しなくてよい。保護者に対して自治活動と、学校・PTA・子ども会活動が連動していると誤解している人が多い。こういう点を充分に理解してもらうことが重要だと思う。「居住地に近い学校選択」が原則。特色ある学校づくりはすべての学校の重要課題であり、特色ある学校を選択肢にすることは、学校間格差を生じるので反対。学校の生徒の能力差は生じさせないよう努力してほしい。校区内の学校が遠くて通学に不自由な地域で、隣接校が近い等又は家庭のやむを得ない事情がある場合のみに限定して許可するように。長崎ではこの制度を廃止する動きが報道されている。受入枠を増やしても問題は残る。一家族で別々の校区の可能性もあるし、人数が減った学校では深刻な事態も起こりえる。行き過ぎた規制緩和はかえって教育環境を混乱させるものになる。他校区、他校の子ども達とふれあう機会を多く与える工夫をし、子ども会活動、環境学習、イベントの参加等、隣接校との交流を密にする。先生方の取組次第。隣接地域相互の子ども会活動の交流を図ること。特別な理由がある児童生徒には、学区外就学許可制度を弾力的に運用すればよい。地域と学校・家庭のつながりを重視した制度にしてほしい。選択制入学者の希望理由等の詳細分析結果の情報を提供して欲しい。

* ご意見・ご要望

同じ地区に住んでいながら友人が違うため、他の校区の友人しかできないのではないかと思う。子どもの時の友人は大切である。

規制緩和は教育になじまず、地域における学校の存在性がなくなり、連携が薄くなる。

都市人口密集区域と村落区域で学校の状況が違ってくる。隣接校選択制は弊害が多いので従来方式がよい。

特殊事情の児童生徒の通学が可能とするべきである。

小学生は中止すること。

中学生は選択制もよいが、小学校は無い方が望ましい。制度充実もよいが、撤退の勇気も必要。2年間の施行後十分に総括が行われたのか。各界、各層の意見を聞いた後、実施に踏み切ってほしかった。校区会長は実施を前提にした説明会を受けたただだった。家庭の特殊事情による他校への転校は以前から認められていたと認識している。

申請の際、地域活動に積極的に協力してくださいという理解を得ながら受付けているというが、まったく理解していない。また、通学の安全性、学校の特色等、考慮されていない点もある。

児童生徒の登下校に問題があるのではないか。

この制度はおそらく国からの通達と一部のPTA役員からの意見があったのではないかと推測される。新しい制度に取り組もうとする場合は、まず地域の自治会、各種団体、学校関係、PTA等々に呼びかけ、制度について教育委員会が説明をして、皆さんの意見を聞くべきであった。地域の自治会長はいまだにこの制度について理解していない。

近くの学校に行く制度で施行すべき。それ以外は、義務教育ですべきではないと考える。

2年間の試行の中でどんな成果や課題が生まれたとしているのでしょうか。「地域コミュニティの再生」と叫んでいながら逆行の感があります。学校の違う子ども・親は、子ども会活動、地域活動に参加しないとといった事実のあることをどれだけとらえているのでしょうか。この制度は地域にとつて厳しいものです。

親子が生まれた地元の学校から他の地に転居までして隣接の必要性はないのではないか。

地区内の繋がりが薄くなって隣近所の付き合い等、日本人のよい風習がなくなってきている最近、別の学校に通っている家庭の親同士、子ども同士の交流が少なくなっている。できれば選択制はやめて、特に事情のある場合のみにする。

選択制は、市内中心部の一部校区に必要なとしても、全市的に求められる制度ではない。私立学校の多い都市部では学校の通学区制は機能しないと思うが、小中学校に私立学校の少ない所では、なお検討すべき課題が多いと思う。現状では賛成しない。

この制度は都市部中心に考えられたのではないか。過疎地域においては複式学級の増になるのではないか。魅力ある学校づくりをしていれば自ずと校区内の学校となる。要は先生に頑張れと言っている気がする。

隣接校への転入は、本当に通学に不安がある子どものみを対象にすべき。特色ある学校が理由なら、本来の趣旨と違ったものになるので、あくまでも通学の利便性を重視すべき。

通学区域を一部外して、隣接校選択制を設定する必要性についてよく理解できない。

距離的に至近にある隣接校への通学を認めること以外に必要なものか。

義務教育としての小中学校に「学校の特色」とは何か理解できない。

PTA活動ができない。

学校ごとの学力や行事内容のレベル等に差を生じないよう、教諭の配置や学校環境の整備に十分配慮すること。

学校行事、PTA活動、子ども会活動等の地域活動への積極的な協力が得られていない気がする。

生活校区と通学校区が異なることは、地域住民とのふれあいが少なくなり、学校と地域の連携が希薄になる。

子ども会活動で同じ町内に住みながら、活動に参加しにくく、子ども同士の交流が希薄になる。

地域の見守り、声かけ運動など、通学の安全確保面で不安が大きい。

小中学校まではその地域にある学校に通う方が良いと思う。地域住民が協働で物事を実施することが難しくなっている今日この頃、益々困難になる要因の一つであると思う。

小学校では問題ないと思いますが、中学校では校風(荒れた環境)の中学校を避ける為とか、保護者の都合(家庭の事情)で選択されるのであれば、教育の観点から如何なものか。

動き始めた制度ですが、これからが本番だと思う。今後も実施する中で、多方面の意見を聞く機会を持ってもらいたい。